

長浜市地域福祉活動計画

事業評価シート（平成26年度報告シート）

※本シートの詳細は、長浜市地域福祉活動計画事業報告シートをご覧ください

平成26年度長浜市地域福祉活動計画事業評価一覧表

おせんどさんの地域づくり A:10 B:10 C:1 計21		評価
1-①地域の絆づくり		
1	地区社協交流事業	B
2	小地域サロン支援事業	A
3	在宅介護者のつどい事業	B
4	しょうがい者交流事業	A
5	多文化交流サロン	A
6	ふれあい用具貸出事業	A
7	ふれあい備品購入助成事業	B
8	福祉出前講座	A
1-②健やかな成長と自立を育む地域づくり		
9	子育て支援事業(おもちゃ図書館)	A
10	冒険遊び場支援事業	C
11	福祉用具・車いす車両貸出事業	B
12	たすけあい資金貸付・生活福祉資金貸付・緊急食糧給付	B
13	中山間地域支援事業(ワークキャンプ)	A
14	日常生活支えあい促進事業	A
1-③見守りで支えあう地域づくり		
15	福祉委員支援事業	A
16	地域除雪支援事業	B
17	ふれあい電話事業	B
18	地域見守り活動推進事業	B
19	歳末たすけあい運動	B
20	総合相談・よろず相談事業	B
21	権利擁護センター事業(後見サポートセンター)	A
だしかいなの人づくり A:14 B:3 C:0 計17		
2-①参加と交流を育む環境づくり		
22	福祉教育推進事業	A
23	福祉出前講座(技術習得)	A
24	ボランティア養成講座	A
25	広報啓発事業	A

26	社会福祉大会	A
2-②ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり		
27	福祉団体助成事業	A
28	災害支援活動ネットワーク事業	B
29	ボランティア団体支援	A
30	ボランティア連絡協議会支援	B
2-③やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分(人)づくり		
31	地区社協研修事業	A
32	福祉委員推進事業	A
33	小地域サロン支援事業(サロンボランティア)	A
34	しょうがい(児)者交流事業	A
35	子育て支援事業(おもちゃ図書館)(ボランティア)	B
36	中山間地域支援事業(ワークキャンプ)(ボランティア)	A
37	福祉教育推進事業(受講者)	A
38	ボランティアコーディネート業務	A
ねんごろな根太づくり A:6 B:1 C:0 計7		
3-①気楽に相談できる関係・環境・意識づくり		
39	福祉・生活相談窓口の運営	A
40	生活相談員の設置	A
3-②気になる人を支えられる関係づくり		
41	地域見守り活動推進事業(個別支援計画策定率)	A
42	地域・介護連携会議	A
3-③協働と参画による地域づくり		
43	地区別地域福祉推進事業(地域ケア会議)	B
44	災害ボランティアセンターの機能強化	A
45	地域福祉コーディネーターの配置	A
合 計 A:30 B:14 C:1 計45		

シートの見方

基本目標1 おせんどさんの地域づくり【地域の絆で安心して暮らせる地域づくり】

①地域の絆づくり

- P. 1 地区社協交流事業（地域交流事業）
- P. 2 小地域サロン支援事業（実施件数）
- P. 3 在宅介護者のつどい（開催回数）
- P. 4 しょうがい者交流事業（開催回数・参加者数）
- P. 5 多文化交流サロン（開催回数）
- P. 5 ふれあい用具貸出事業（貸出件数）
- P. 6 ふれあい備品購入助成事業（備品購入助成件数）
- P. 6 福祉出前講座（講座開催【地域福祉活動】）

②健やかな成長と自立を育む地域づくり

- P. 7 子育て支援事業【おもちゃ図書館】（開催回数・参加者数）
- P. 7 冒険遊び場支援事業（開催地区数・開催回数）
- P. 8 福祉用具・車いす車両貸出事業（貸出件数）
- P. 8 たすけあい資金貸付事業（相談件数・貸出件数・給付件数）
- P. 8 生活福祉資金貸付事業（相談件数・貸出件数・給付件数）
- P. 8 緊急食糧給付事業（相談件数・貸出件数・給付件数）
- P. 9 中山間地域支援事業【ワークキャンプ】（活動地区数・活動日数）
- P. 10 日常生活支えあい促進事業（取組み地区件数）

③見守りで支えあう地域づくり

- P. 11 福祉委員支援事業（設置自治会数・率）
- P. 12 地域除雪支援事業（支援自治会数・率）
- P. 12 ふれあい電話（利用者数・実施（相談）件数）
- P. 13 地域見守り活動推進事業（取組み活動支援自治会数・率、啓発活動・研修会等の開催）
- P. 14 歳末たすけあい運動（実施件数）
- P. 14 総合相談・よろず相談事業（相談件数）
- P. 15 権利擁護センター事業（後見牒[®]-トセン[®]-事業）（相談援助件数・権利擁護利用者数、支援回数）

基本目標2 だしかいなの人づくり【お互いさまの関係づくり】

①参加と交流を育む環境づくり

- P. 16 福祉教育推進事業（実施件数）
- P. 16 福祉出前講座（講座開催【技能習得】）

- P. 17 ボランティア養成講座（開催数・受講者数）
- P. 17 広報啓発事業（発行回数）
- P. 18 社会福祉大会（参加者数）

②ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり（団体）

- P. 19 福祉団体活動助成事業（支援事業数）
- P. 19 災害支援ネットワーク事業（活動実施回数）
- P. 20 ボランティア団体支援（登録支援団体数）
- P. 20 ボランティア連絡協議会支援（事業開催回数）

③やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり

- P. 21 地区社協研修事業（研修会等開催回数）
- P. 21 福祉委員推進事業（研修会等開催回数）
- P. 22 小地域サロン支援事業（開催回数）
- P. 22 しょうがい（児）者交流事業（ボランティア活動者数【延べ人数】）
- P. 23 子育て支援事業【おもちゃ図書館】（ボランティア活動者数【延べ人数】）
- P. 23 中山間地域支援事業【ワークキャンプ】（ボランティア活動者数【延べ人数】）
- P. 24 福祉教育推進事業（受講者数）
- P. 24 ボランティアコーディネート業務（件数）

基本目標3 ねんごろな根太づくり【支えあって、安心して暮らせるしくみづくり】

①気楽に相談できる関係・環境・意識づくり

- P. 25 福祉・生活相談窓口の運営（設置数【福祉生活相談・よろず相談】）
- P. 25 生活相談員の設置（設置数）

②気になる人を支えられる関係づくり

- P. 26 地域見守り活動推進事業（個別支援計画策定件数）
- P. 26 地域・介護連携会議（開催回数）

③協働と参画による地域づくり

- P. 27 地区別地域福祉推進事業【地域ケア会議】（地区活動計画策定数・率）
- P. 27 災害ボランティアセンターの機能強化（ボランティア数・訓練回数）
- P. 28 地域福祉コーディネーターの配置（設置数・研修会数）

長浜市地域福祉活動計画事業評価シート（年間報告シート）の見方

長浜市地域福祉活動計画の基本目標、活動の柱、取り組みごとに事業分類しています。

長浜市地域福祉活動計画の推進目標ごとに事業が書かれています。

年間評価をA・B・Cの3段階にて評価していただきます。

平成26年度1年間の事業評価コメント（案）を書いています。

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況	評価															
おきなわの地域の絆	1-① 地域の絆づくり	③ 地域対話（コミュニケーション）を促進します	<p>在宅介護者のつどい事業 地域福祉活動事例集 事例番号13参照</p> <p>事業目的 在宅で介護する介護者同士の交流を深め連帯感や絆を深めます。また、介護技術の研修・講習、リフレッシュ活動などで、在宅での介護をサポートします。</p> <p>○開催回数</p> <table border="1" data-bbox="409 680 1397 827"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数(回)</td> <td>11</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 介護者のリフレッシュや交流、情報交換の場として、定期的につどいを開催しています。 参加者 166名 ・主な内容 バスでおでかけ、映画鑑賞、そば打ち体験、介護学習会等</p> <p>【事業報告シートp. 4】</p>	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数(回)	11	11				12	評価	【B】おおむね達成できている
			年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
			開催回数(回)	11	11				12										
<p>事業視点を、年度事業達成状況を数値化し、年間の事業実績を書いています。H30の数値は目標値です。</p>	評価コメント	<p>在宅で介護をしている介護者同士の交流や情報交換の場を提供することで、介護者の孤立防止や学習会を通じた介護の充実が図られている。</p> <p>平成26年度は、つどいの内容に参加者の声を取り入れることで、参加意欲の向上や、クチコミによる参加者増が図られている。</p> <p>つどいでの交流がきっかけとなり、つどい外での参加者の交流が図られるなど、この事業を起点とした同時者同士の支え合いが生まれています。</p> <p>今後は、さらに、推進委員には、「年間評価」と「主な事業成果および課題」についてコメントいただきたいと思っています。</p>																	
<p>平成26年度1年間の活動事業の概略を書いています。（事業報告シート参照）</p> <p>事業報告シートのページ番号を書いています。</p>	主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者同士の交流により、介護者同士の支え合いが生まれています。 定期的につどい開催されることで、介護者の孤立防止につながっている。 つどいの内容等に参加者の意見を取り入れることで参加者増加が図れている。 つどいが交流のきっかけとなり、つどい外での介護者のつながりができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな介護者や男性介護者の参加が少ないため、介護事業所等との連携・協働による介護者への呼びかけが必要である。 																	
<p>年間評価コメントの参考に、事業報告シートの「主な事業成果と課題」を書き出しています。（事業報告シート参照）</p>	主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> つどいがあるから救われている。他の人の介護の話を知ると参考になり、自分もがんばろうという力をもらっている。（参加者） 介護をし始めて、外出する機会が減ってしまっていたので、つどいへ参加することがストレス発散になっています。（参加者） 早めに案内チラシを送ってもらえるので、ケアマネジャーと介護の調整の相談がしやすい。（参加者） 初めて参加したが、体験活動などとおして気楽におしゃべり出来るので、介護のことなどいろいろ相談することができました。（参加者） つどいの内容に、参加者の声を取り入れてもらえるので、参加に対して意欲になります。（参加者） ここで知り合った人と、つどい以外でもおしゃべりの場をつくっています。（参加者） 同じ立場の人同士でおしゃべりされるので、ストレス発散などを目的に参加を勧めています。（ケアマネジャー） 																	

事業報告シートの「主な参加者・住民の評価・声」を書いています。（事業報告シート参照）

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況	評価																																					
おおむね達成している 地域づくりの絆づくり	① 地域の絆づくり	(1) 地域の交流を促進します	<div data-bbox="439 262 1439 472" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地区社協交流事業 地域福祉活動事例集（別冊：以下同じ）事例番号1参照</p> <p>事業目的 地区社会福祉協議会（福祉の会）を基盤として、地域内の各団体・関係機関と連携し、地域の交流を深める行事等を開催します。また、地域内の福祉課題・ニーズを明らかにし地域住民が主体的に地域の課題に向けた取り組みを進めるため、福祉懇談会（ケア会議）を開催します。</p> </div> <p>○地区社協 地域交流事業 実施回数</p> <table border="1" data-bbox="460 535 1439 682"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>130</td> <td>131</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table> <p>○参加者数 15,289人 実施状況報告 市内15地区で、各地区の地域交流を推進するため、地域福祉コーディネーターを配置して、地域の活動や事業を支援しています。</p> <p>○福祉懇談会 開催回数</p> <table border="1" data-bbox="460 903 1439 1039"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>2</td> <td>33</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 各地区の地域課題・ニーズを明確にして、新たな事業・取り組みにつなげるため、地域住民による懇談会開催を各地区と連携して準備に取り組んでいます。</p> <div data-bbox="608 1197 1276 1701"> <table border="1" style="display: none;"> <caption>福祉懇談会・開催回数の推移グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>開催回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>【事業報告シートp. 2・3】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施回数 (回)	130	131				150	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施回数 (回)	2	33				20	年度	開催回数	H24	10	H25	2	H26	33	<p>評価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<p>【B】おおむね達成できている</p> <p>市内各地域において、地区社協（福祉の会）を中心に地区の課題や特徴に合わせた、きめ細やかなふれあいと交流の場が開催されています。</p> <p>平成26年度は、市内で131事業により15,289の方がふれあいと交流の場に参加し、地域のつながりがつくられています。これらの事業のうち106事業が地域の様々な団体の連携・協働により開催されることにより、団体間のつながりも育まれています。</p> <p>また、8地区において長浜市地域福祉活動計画にもとづき、地区版の地域福祉活動計画の策定を目指した福祉懇談会（地域ケア会議）が開催され、地域課題に応じたきめ細やかな福祉活動が計画的に推進されています。</p> <p>引き続き、地域の実情に応じた交流の活性化や、主体的な地域福祉活動を進める取り組みが必要となります。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地区で交流活動が開催され、15,289人の交流が図られた。 交流活動・交流事業131事業のうち、106事業において、地域や各団体・関係機関の協働・連携により実施された。 地区ごとの福祉懇談会（地域ケア会議）が33回開催され、地域の現状や課題などについて話し合いが進められている。 <p>・交流事業で参加者と顔見知りになり、地域で見かけた時に声掛けができ、つながりができました。（地区社協（福祉の会）役員）</p> <p>・同じ地域のひとり暮らし高齢者の方とお話することができて、生きがいになります。（ひとり暮らし高齢者ふれあい会参加者）</p> <p>・地区内の様々な団体が協力し合うことで、効率よく、また効果的に交流の機会をつくることできて良かったです。（地域づくり協議会役員）</p> <p>・地区社協の事業に参加することで、地域の状況を知ることができました。（民生児童委員）</p> <p>・福祉について話し合うことで、私たちの住む地区で何が求められているかなどの意見を共有することができました。（福祉懇談会参加者）</p>
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																
			実施回数 (回)	130	131				150																																
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																			
実施回数 (回)	2	33				20																																			
年度	開催回数																																								
H24	10																																								
H25	2																																								
H26	33																																								

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況	評価																						
5人1組の活動 1-① 地域の絆づくり	② 地域団体活動の促進と協働を促進します		<div data-bbox="439 241 1439 430" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>小地域サロン支援事業 地域福祉活動事例集 事例番号29参照</p> <p>事業目的 高齢者等の交流・コミュニケーションの場である小地域サロン活動の設置を推進し、高齢者の健康増進と自治会内での見守り、支えあいの推進基盤を育成・強化します。</p> </div> <p>○小地域サロン実施件数（自治会）※社協登録団体</p> <table border="1" data-bbox="460 493 1439 724"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施地区数 (地区)</td> <td>153</td> <td>165</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>実施率 (%)</td> <td>35.2</td> <td>38.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>44.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実施率分母426自治会 サロン参加者数 平成26年度 31,785人</p> <p>実施状況報告 各地域で世代を超えた交流や居場所づくり、顔の見える関係を深めるため、地域住民ボランティアによるサロン活動が展開されています。サロン活動が地域福祉の基盤となるよう財源支援やレクリエーション備品の充実、ボランティア等の派遣を行っています。 また、情報紙の発行やサロンボランティアの情報交換会を行い、新たな活動へのきっかけづくりや活動意欲を高めるための支援を行っています。</p> <div data-bbox="460 1207 934 1585"> <p>小地域サロン実施件数の推移</p> </div> <div data-bbox="964 1207 1439 1585"> <p>小地域サロン実施率の推移</p> </div> <p>【事業報告シートp. 3・4】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施地区数 (地区)	153	165				190	実施率 (%)	35.2	38.7				44.6	<p>評価</p> <p>【A】達成できている</p> <p>評価コメント</p> <p>平成26年度のサロン活動の参加者が31,785人となり、前年度より5,000人程増加している。顔の見える関係の中でつながりを深めることで地域の絆を育む基盤として取り組みが進められている。</p> <p>12の新規サロンの立ち上げや、既存サロンの継続や参加者の増加は、地区社協等からの支援、自治会などを単位としたふれあいの場や交流の場の必要性の高まりによるものであり、住民の居場所づくりや地域の絆を深める一役を担っている。</p> <p>今後も、未実施地区における新たなサロン活動の取り組みや、また既存のサロン活動の支援をとおして、小地域のふれあいや交流を原点としたつながりや、見守り支えあいの関係づくりが必要である。</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区社協と連携したサロンスタッフの学習会を開催し、サロンの意義や他地域の取り組み内容を伝えることで、12自治会でサロンの実施につながった。 地域住民のサロン活動に対する理解を深めることで、新たな活動や既存サロンの基盤強化を図れている。 サロン活動をとおして、地域の顔の見える関係づくりができている。 サロンに参加することで閉じこもり防止など、介護予防につながっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会の規模や世代構成など、サロン活動に対する温度差がある。サロン活動を実施しにくい地域の活動支援強化が必要である。 <p>主な参加者・住民の評価・声</p> <ul style="list-style-type: none"> 何日も前から、サロンを楽しみにしています。(サロン参加者) サロンに参加して、みんなとおしゃべりすることで、心も体も元気になります。(サロン参加者) サロンスタッフ交流会で学んだコミュニケーション麻雀が男性に非常に好評で、男性のサロン参加者が増えました。(サロン運営者) 出前講座を利用して、自治会全体でサロンについて考える機会を持ったことで、サロンに対する住民の協力や参加者も増え、参加者も運営スタッフも一緒になってサロンを楽しんでいます(サロン運営者) サロン活動をはじめたいが、戸数が少ない自治会のため運営に関わる人員が限られている。(サロン立ち上げが難しい自治会) 	
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
			実施地区数 (地区)	153	165				190																	
実施率 (%)	35.2	38.7				44.6																				

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																
おしゃべりの地域ケア	1-① 地域の絆づくり	③地域対話（コミュニケーション）を促進します	<p>在宅介護者のつどい事業 地域福祉活動事例集 事例番号13参照</p> <p>事業目的 在宅で介護する介護者同士の交流を深め連帯感や絆を深めます。また、介護技術の研修・講習、リフレッシュ活動などで、在宅での介護をサポートします。</p> <p>○開催回数</p> <table border="1" data-bbox="454 499 1448 646"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>11</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 介護者のリフレッシュや交流、情報交換の場として、定期的につどいを開催しています。 参加者 166名</p> <p>・主な内容 バスでおでかけ、映画鑑賞、そば打ち体験、介護学習会等 【事業報告シートp. 4・5】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	11	11				12	評 価	【B】おおむね達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
			開催回数 (回)	11	11				12										
評価コメント	<p>介護者同士の交流や情報交換の場を提供することで、介護者の孤立防止や学習会をととした介護意欲や知識の向上が図られている。</p> <p>平成26年度は、つどいの内容に参加者の声を取り入れることで、延べ166人の参加があり、参加意欲の向上や、クチコミによる参加者増が図られている。</p> <p>つどいでの交流がきっかけとなり、つどい外での参加者の交流が図られるなど、つどいを起点とした参加者同士の支えあい効果も見られる。</p> <p>一方で、男性介護者の参加が低調であるため、今後はさらに多くの参加が得られるような内容や男性介護者の関心が高い催し、周知方法等について検討し、介護でストレスや悩みを抱える方の交流の輪を広げる取り組みが求められている。</p>																		
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者同士の交流により介護ストレスの緩和が図れている。 定期的につどい開催されることで、介護者の孤立防止につながっている。 つどいの内容等に参加者の意見を取り入れることで参加者の増加が図れている。 つどいが交流のきっかけとなり、つどい外での交介護者のつながりができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規参加者や男性介護者の参加が少ないため、介護事業所等との連携・協働による介護者への呼びかけが必要である。 																		
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> つどいがあるから救われている。他の人の介護の話を聞くと参考になり、自分もがんばろうという力をもらっている。（参加者） 介護をし始めて、外出する機会が減ってしまっていたので、つどいへ参加することがストレス発散になっています。（参加者） 早めに案内チラシを送ってもらえるので、ケアマネージャーと介護の調整の相談がしやすい。（参加者） 初めて参加したが、体験活動などとおして気楽におしゃべり出来るので、介護のことなどいろいろ相談することができました。（参加者） つどいの内容に、参加者の声を取り入れてもらえるので、参加に対して意欲的になります。（参加者） ここで知り合った人と、つどい以外でもおしゃべりの場をつくっています。（参加者） 同じ立場の人同士でおしゃべりされるので、ストレス発散などを目的に参加を勧めています。（ケアマネージャー） 																		

<p>基本 目標</p>	<p>活動 の柱</p>	<p>取り 組み</p>	<div data-bbox="430 241 1484 451" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>しょうがい者交流事業 地域福祉活動事例集 事例番号8~12参照</p> <p>事業目的 しょうがい者とその家族および福祉関係者・ボランティアが行事を通して、家族の絆と参加者との交流を深め、しょうがい者とその家族が地域で孤立することなく、日ごろから相談できる関係づくりと地域とのつながりを深めます。</p> </div> <p>○開催回数・参加者数</p> <table border="1" data-bbox="460 493 1454 724"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>43</td> <td>40</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>948</td> <td>1,095</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,070</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告</p> <p>しょうがい児者およびその家族、ボランティアとのつながりを持ち、しょうがい児者世帯の日常生活の充実と孤立防止を図るため余暇支援活動を推進している。また、気軽に集まれる居場所づくりを促進し、日ごろの悩みなどを相談できる関係づくりを促進しています。</p> <p>※療育レクリエーション…その場に集う人たちとの交流を深め、地域での孤立予防する。 サマーハウス…夏休みの親子活動により、夏休み生活の質的向上を図る。 ほのぼのかけはし…しょうがい児の保護者を対象とした学習会と交流会を開催し、子どもの養育や将来を考える/*、話しあえる機会を提供する。 料理サロン…調理を通じた生活訓練と参加者の交流を深める。 元気クラブ…一般就労しょうがい者の余暇活動を支援する。</p> <div data-bbox="638 1197 1246 1648"> <table border="1"> <caption>しょうがい者交流事業参加者数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数</td> <td>948</td> <td>1,095</td> <td>1,070</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>【事業報告シートp. 5】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	43	40				47	参加者数 (人)	948	1,095				1,070	年 度	H24	H25	H26	参加者数	948	1,095	1,070	<p>評 価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果 および課題</p> <p>主な参加者・住民の 評価・声</p>	<p style="text-align: center;">【A】達成できている</p> <p>年間を通じて幅広いしょうがい児者の交流活動が展開されている。また、地域ボランティアが参加、協力することで、地域と参加者とのつながりが深められている。</p> <p>また、保護者同士の情報交換の場として、つながりが広がっており、参加者の増加や事業外でのつながりづくりが促進されており、今後も継続した事業内容の充実が必要である。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事をとおして、参加者同士、地域住民（ボランティア）とのつながりを深め、余暇支援活動の充実を図ることができている。 しょうがい児者およびその家族の居場所（余暇活動）づくりを通して、日ごろの悩み等の相談や活動意欲の向上を図ることができている。 学習会をとおして今必要な情報や将来を考えるきっかけづくり、子育ての経験など情報交換の場となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後さらに、日頃の悩み等を相談できる関係づくりを進める取り組みが必要である。 <p>・楽しみにしているのでこれからも続けて欲しい。（療育レクリエーション参加者）</p> <p>・同じような悩みを分かちあえるので、このような場は大切にしたい。（ほのぼのかけはし参加の保護者）</p> <p>・定期的に不安や子どものことを話せる場所があるとありがたい（サマーハウス参加者）</p> <p>・ここで出会った方とつながることができ、子育ての悩みなど分かち合うことができよかった。（サマーハウス・ほのぼのかけはし参加の保護者）</p> <p>・講師として参加し、保護者の方とお話しすることで、こういった勉強会、交流の場を大事にされていると感じた。（ほのぼのかけはしアドバイザー）</p>
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																												
開催回数 (回)	43	40				47																												
参加者数 (人)	948	1,095				1,070																												
年 度	H24	H25	H26																															
参加者数	948	1,095	1,070																															

SANSU地域福祉活動事例集

1-① 地域の絆づくり

(3) 地域対話（コミュニケーション）を促進します

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																							
おかせられる地域の絆づくり	1-① 地域の絆づくり	③ 地域対話（コミュニケーション）を促進します	<p>多文化交流サロン 地域福祉活動事例集 事例番号30参照</p> <p>事業目的 市内在住の他国出身者（外国籍・婚姻等）同士やボランティアとの交流を深め、日本を含むさまざまな文化や伝統行事等の体験をとおして参加者の絆を深めます。</p> <p>○開催回数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>12</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>145</td> <td>203</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>230</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 市内在住の他国出身者の孤立を防ぎ、地域とのつながりをもって暮らせるよう居場所づくり（多文化交流サロン）を実施しています。</p> <p>・主な内容 調理活動、伝統行事の体験等</p> <p>【事業報告シートp. 6】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	12	12				12	参加者数 (人)	145	203				230	<p>評 価</p> <p>【A】達成できている</p>	
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																		
開催回数 (回)	12	12				12																				
参加者数 (人)	145	203				230																				
<p>評価コメント</p> <p>平成26年度は前年比60人近くの参加者が増え、安心して過ごせる居場所づくりと参加者同士の絆が深まった。他国出身者は地域で孤立しやすい立場にあり、当事者同士の絆を深め、安心して過ごせる居場所づくりを継続していく必要がある。</p> <p>また、当事者が運営に参画することで、主体的な交流やふれあいの促進が進められている。</p>	<p>主な事業成果 および課題</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者が主体的に運営に参画できる居場所が、相談や絆を深める場として機能している。 当事者同士の呼び掛けにより、サロン参加者が増加している。 	<p>主な参加者・住民の 評価・声</p> <ul style="list-style-type: none"> サロンに参加する事を楽しみにしています。（参加者） 他の文化に触れることができうれしい。（参加者） サロンの日が待ち遠しいです。（参加者） 定期的に仲間と話せる楽しい場所なのでうれしい。（参加者） ここに来ると、人とつながることができて安心です。（参加者） 																								
		① 地域の交流を促進します	<p>ふれあい用具貸出事業 地域福祉活動事例集 事例番号38参照</p> <p>事業目的 自治会・ボランティア団体など地域福祉活動を推進する団体が行う地域行事に、レクリエーション・イベント用具等を貸出し、地域交流の増進を図り地域の絆を育みます。</p> <p>○貸出件数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出件数 (回)</td> <td>1,336</td> <td>1,497</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,800</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 自治会等の地域福祉活動を行う団体に対して、レクリエーション用具等を貸出し、地域交流の増進を図っています。</p> <p>・主な貸出用具 調理器具・・・ポップコーン、綿菓子器等 レクリエーション用具・・・輪投げ、ストラックアウト等</p> <p>【事業報告シートp. 6】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	貸出件数 (回)	1,336	1,497				1,800	<p>評 価</p> <p>【A】達成できている</p>								
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																				
貸出件数 (回)	1,336	1,497				1,800																				
				<p>評価コメント</p> <p>自治会や福祉団体等に対し、1,497件のレクリエーション物品等の貸出しを実施し、地域住民のふれあいと交流の輪が各地域で広がりをみせている。ニーズに応じた貸出物品の整備が求められる。</p>	<p>主な事業成果 および課題</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具の貸出しをとおして地域交流の増進を図るイベントが活性化している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具の老朽化による故障時の対応や更新計画等を検討し、安定した貸出事業の継続が求められている。 	<p>主な参加者・住民の 評価・声</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもが喜ぶ用具の貸出しがあるおかげで、参加者に好評でした。（自治会長） いろいろな用具を借りられるため、イベントがマンネリ化しないで助かっています。（福祉団体活動者） 																				

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																
おこなわれつつある地域のつながり	1-① 地域の絆づくり	(1) 地域の交流を促進します	<p>ふれあい備品購入助成事業 <small>地域福祉活動事例集 事例番号14参照</small></p> <p>事業目的 自治会の交流を目的とした備品の購入助成を通じて自治会員相互のふれあい・交流活動の促進を図ります。</p> <p>○備品購入助成件数</p> <table border="1" data-bbox="454 499 1448 638"> <tr> <td>年 度</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>助成件数 (件)</td> <td>26</td> <td>22</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>30</td> </tr> </table> <p>【実施状況報告】 赤い羽根共同募金を財源に、住民相互のふれあい活動のための備品購入費を支援し、自治会内の交流活動と地域福祉の増進を図っています。</p> <p>【事業報告シートp. 7】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	助成件数 (件)	26	22				30	評 価	【B】おおむね達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		助成件数 (件)	26	22				30											
		評価コメント	平成18年度より231自治会が交流活動に必要な備品を整備し、自治会活動の活性化と交流が推進された。今後も自治会のふれあい活動に関わる備品整備を進め、交流活動の増進を図ることが求められている。																
主な事業成果および課題	【成果】 ・地域のニーズに応じた備品整備により、交流活動が促進されている。																		
主な参加者・住民の評価・声	・高齢者サロン等に使用するイスを購入することができ、サロン参加者も増えました。（自治会長） ・購入備品で町内行事や会議の充実化・円滑化が図れました。（自治会長）																		
おこなわれつつある地域のつながり	1-① 地域の絆づくり	(2) 地域団体活動の促進と協働を促進します	<p>福祉出前講座 <small>地域福祉活動事例集 事例番号16参照</small></p> <p>事業目的 福祉出前講座をとおり、地域福祉に対する住民意識を高め、地域内での住民同士のたすけあい、支えあいの基盤強化と地域の対話を促進します。</p> <p>○講座開催回数（地域福祉活動）</p> <table border="1" data-bbox="454 1108 1448 1247"> <tr> <td>年 度</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>32</td> <td>70</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>40</td> </tr> </table> <p>【実施状況報告】 専門知識及び技術を持った社会福祉協議会職員が講師となり、地域住民が福祉活動を身近に感じてもらえるような講座を開催し、地域福祉の啓発と関心を高める活動を行っています。</p> <p>【事業報告シートp. 7・8】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	32	70				40	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		開催回数 (回)	32	70				40											
		評価コメント	住民の福祉学習の場として70件2,985人が参加する機会が設けられた。HUG（避難所運営ゲーム）やいざ飯（いざという時の食事）づくり等災害時の対応等を想定した講座の関心が高く地域の福祉課題に応じた出前講座の実施が進められている。 地域課題や社会情勢にあわせた出前講座プログラムの開発が求められる。																
主な事業成果および課題	【成果】 ・自治会など、生活の身近な所で福祉活動に対する関心を高める活動がすすめられている。 ・災害時を想定した HUG やいざメシ作りなど、地域の関心が高い講座の企画、整備が進められている。																		
主な参加者・住民の評価・声	・身近な場所で、近所の方とともに福祉について学習する機会があり、意識が変わった。 ・今まで災害・防災について福祉の視点を入れて考えたことがなかったが、災害弱者について考えるきっかけとなった。（災害にも強いまちづくり講座参加者）																		

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																							
地域づくりの推進	1-② 健やかな成長と自立を育む地域づくり	(2) 地域ぐるみの子育てを促進します	<p>子育て支援事業（おもちゃ図書館） <small>地域福祉活動事例集 事例番号20参照</small></p> <p>事業目的 おもちゃを通して、子ども（乳幼児等）の豊かな発想と発育を支援し、子どもや保護者、ボランティアがつながりを深めるとともに、子どもを地域全体で見守る活動を推進します。</p> <p>○おもちゃ図書館 開催回数・参加者数</p> <table border="1" data-bbox="454 499 1448 730"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>67</td> <td>80</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>465</td> <td>818</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 未就園児の幼児と保護者を対象に、さまざまなおもちゃの遊びを通した子どもの豊かな発想と発育の支援、親子のふれあいや保護者同士とボランティアが交流を図り、子育て環境の充実を図っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虎 姫 会場…毎月第2、3水曜日 9時30分～11時30分（延べ参加者：579） ・木之本会場…毎週火曜日 10時00分～11時30分（延べ参加者：239） <p>【事業報告シートp. 8】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施回数 (回)	67	80				86	参加者数 (人)	465	818				700	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
実施回数 (回)	67	80				86																				
参加者数 (人)	465	818				700																				
評価コメント	地域の子どもと保護者の居場所をつくることで、子どもの健やかな成長と保護者同士の交流を深められている。また、地区社協、ボランティアが活動に参加することで、地域ぐるみの子育て活動の取り組みが進められている。 周知方法や活動内容を工夫することで、参加者の増加につなぐことが出来ている。																									
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流により、育児に対するストレスの軽減、情報交換や仲間づくりを図ることができている。 ・参加者の増加で保護者同士の交流の輪が広がっている。 ・地区社協をはじめとする福祉団体の協力のもと、地域ぐるみの活動ができている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木之本会場の参加者が少ないため、参加促進イベントやチラシ配布などにより参加者増の取り組みが必要である。 																									
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てと家事の毎日で、人との関わりが少ないため、ここへ来て話すことが楽しみです。 ・季節ごとのイベントがあるので、子どもも楽しみにしています。 ・友達に誘われて来て、その中でも友達ができ交流の輪が広がった。 																									
地域づくりの推進	1-② 健やかな成長と自立を育む地域づくり	(2) 地域ぐるみの子育てを促進します	<p>冒険遊び場支援事業 <small>地域福祉活動事例集 事例番号19参照</small></p> <p>事業目的 子どもが自然の中で元気に遊べる機会を創造し、四季を通じた外遊びの体験、子ども同士・親同士の交流を深め、子育ての大切さや支えあえる活動を推進します。</p> <p>○冒険遊び場 開催地区数・開催回数</p> <table border="1" data-bbox="454 1339 1448 1570"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催地区 (地区)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>22</td> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 子どもが外で自由に遊べる環境が少なくなってきた中、外遊びを主体とした親子の居場所づくりを目的とした活動を推進しています。活動費の助成や活動に対する相談援助を行うことで、活動の充実や新たな取り組み、活動支援を行っています。 これまで市内2か所で取り組まれてきましたが、平成26年度をもって2か所とも定期的な活動を休止されました。</p> <p>【事業報告シートp. 9】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催地区 (地区)	2	2				3	開催回数 (回)	22	17				36	評 価	【C】事業の強化または見直しが必要である
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
開催地区 (地区)	2	2				3																				
開催回数 (回)	22	17				36																				
評価コメント	子どもたちが、自然の中で自由な発想をもって成長できる場や子育て中の親の出会い・交流の場所づくりが市内2か所（長浜、木之本）で進められた。1日冒険遊び場体験会やフォーラムを開催し、新たな会場や活動者の開拓が進められた。 しかし、活動者（保護者）のライフスタイルの変化に伴い、活動の継続が困難となったため、今後はより身近な学区や自治会といった小地域で取り組める活動への転換が必要である。																									
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがのびのびと遊べる場所となり、子育て中の親の出会いの場になった。 ・1日冒険遊び場体験やフォーラムの開催をとらして活動への理解を深めることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身で活動に参加できるように、学区や自治会といった小地域での開催にむけた活動啓発と立ち上げ支援が必要である。 																									
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションに引っ越してきて、どこか遊べる場所がないか探していた時にインターネットで見つけて参加しました。不慣れな土地で仲間もできよかった（参加者の保護者） ・子どもの成長とともに、冒険遊び場へ参加しにくくなり、活動を継続することが難しくなった。（冒険遊び場活動者） ・保護者の送迎なしで子どもだけで参加できるように、学区内や自治会のなかに冒険遊び場がほしい（参加者の保護者） ・保護者だけでは活動に限界があるので、地域のボランティアさんの協力があると活動がしやすい（冒険遊び場主催者） 																									

1-② 健やかな成長と自立を育む地域づくり

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																																		
おせんどうの地域づくり	1-② 健やかな成長と自立を育む地域づくり	(3)自分らしく生きるとは生活できる地域づくりを促進します	<p>福祉用具・車いす車両貸出事業 <small>地域福祉活動事例集 事例番号16参照</small></p> <p>事業目的 在宅で生活する高齢者やしょうがい者等に対し、車いすを貸出し、在宅での生活を支援します。また外出支援として、高齢者やしょうがい者の移動や社会参加の促進のため、介護用車両（車いす用リフト付車両）を貸出します。</p> <p>○福祉用具・車いす車両 貸出件数</p> <table border="1" data-bbox="454 541 1448 772"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出件数(件) 【福祉用具】</td> <td>221</td> <td>221</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>貸出件数(件) 【車いす車両】</td> <td>138</td> <td>114</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>285</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 高齢者やしょうがい者の外出を促進するための車いす車両の貸出や、在宅での生活を向上させるための福祉用具（車いす）の貸出を実施しています。 【事業報告シートp. 9・10】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	貸出件数(件) 【福祉用具】	221	221				350	貸出件数(件) 【車いす車両】	138	114				285	<p>評 価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<p>【B】おおむね達成できている</p> <p>福祉用具の貸出しにより、介護保険等の公的サービスを補い（短期間や非該当者）、生活支援の充実が図られている。 また、車いす車両を貸出すことで、車いす利用者等（高齢者やしょうがい者等）の外出機会の促進につながっている。</p> <p>【成果】 ・福祉用具の利用による生活の質の向上と、車いす利用者の外出や気分転換が図られている。</p> <p>・短い期間でもすぐに車いすが借りられて助かりました。（高齢者家族） ・車いす車両のおかげで家族と外出できて、良い思い出、絆が深まりました。（車いすを使用している高齢者）</p>											
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																												
貸出件数(件) 【福祉用具】	221	221				350																															
貸出件数(件) 【車いす車両】	138	114				285																															
<p>たすけあい資金貸付・生活福祉資金貸付・緊急食料給付 <small>地域福祉活動事例集 事例番号35～37参照</small></p> <p>事業目的 資金の貸付・食料品の支給等と必要な相談支援をおこなうことにより、経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を送れるための支援をおこないます。</p> <p>○相談件数・貸付件数・給付件数</p> <table border="1" data-bbox="454 1287 1448 1696"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数 (件)</td> <td>761</td> <td>724</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>690</td> </tr> <tr> <td>貸付件数(件) 【生活福祉資金】</td> <td>91</td> <td>72</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>貸付件数(件) 【たすけあい資金】</td> <td>75</td> <td>69</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>緊急食糧 給付件数(件)</td> <td>75</td> <td>41</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 低所得世帯やしょうがい者、高齢者世帯等を対象に、貸付を中心とした生活相談支援を実施しています。 相談者には失業や多重債務など複合した生活課題を抱えている世帯が多く、行政関係機関と連携し世帯の課題解決に向けた取り組みを進めています。 【事業報告シートp. 10・11】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	相談件数 (件)	761	724				690	貸付件数(件) 【生活福祉資金】	91	72				120	貸付件数(件) 【たすけあい資金】	75	69				120	緊急食糧 給付件数(件)	75	41				100	<p>評 価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<p>【B】おおむね達成できている</p> <p>生活資金貸付等の援助により生活困窮者世帯等が抱える生活課題解決に向けた取り組みが進められている。生活困窮者自立支援制度等との連携を強化し、制度の狭間で困窮する世帯の支援に向けた取り組みが求められている。</p> <p>【成果】 ・社会保障制度利用までのつなぎ資金の貸付や食料給付等による一時的な生活の維持および安定に向けた取り組みを展開している。</p> <p>【課題】 ・生活困窮者自立支援制度による行政機関等との連携強化のあり方を検討する必要がある。</p> <p>・一時的な支出により生活費が足りず公共料金の支払いができないという緊急時に貸付の利用ができて助かりました。（貸付利用者） ・生活困窮世帯への緊急一時的な食料品給付があることで公的利用までのつなぎが出来ました。（民生委員児童委員）</p>
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																															
相談件数 (件)	761	724				690																															
貸付件数(件) 【生活福祉資金】	91	72				120																															
貸付件数(件) 【たすけあい資金】	75	69				120																															
緊急食糧 給付件数(件)	75	41				100																															

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																							
おおせのまちの地域づくり 1-② 健やかな成長と自立を育む地域づくり	(3) 自ら行うことのできる生活習慣の形成		<p>中山間地域支援事業（ワークキャンプ） <small>地域福祉活動事例集 事例番号17参照</small></p> <p>事業目的 限界集落の地域活動の活性化・地域課題の解決を図るため、ボランティア等による支援・交流活動を促進します。</p> <p>○活動地区数・活動日数</p> <table border="1" data-bbox="454 457 1448 682"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区数 (地区)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>活動日数 (日)</td> <td>4</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 夏と冬に高齢化率50%を超える中山間地域にて水路の土砂あげや草刈り、除雪など住民だけでは解決が困難な作業をボランティアと地域住民が協力し、中山間地域の活性化に向けた取り組みを進めています。</p> <p>【事業報告シートp. 11・12】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	地区数 (地区)	3	3				4	活動日数 (日)	4	7				8	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
			地区数 (地区)	3	3				4																	
活動日数 (日)	4	7				8																				
評価コメント	学生ボランティアによる中山間地域での支援活動により、住民だけでは解決が困難であった水路の土砂上げや除雪活動などの地域課題に焦点をあてた活動の取り組みが進められている。引き続き、学生ボランティアと中山間地域の連携を深め、中山間地域における地域活動活性化の取り組みが求められている。																									
主な事業成果および課題	【成果】 ・中山間地域における地域課題解決を目的とした取り組みによる地域の活性化が図れている。 ・地域住民だけでは解決が困難な課題に対し、学生ボランティアとの協働のもと、解決に向けた活動が展開されている。																									
主な参加者・住民の評価・声	・若者と一緒に作業が出来て、地域が明るくなった。(地域住民) ・互いに協力し合って暮らすことの大切さを学びました。(学生ボランティア) ・毎年学生さんが来てくれるのを楽しみにしています(地域住民) ・雪で家に光が入らなく困っていましたが、除雪していただき助かりました(地域住民)																									

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																
おおせの地域づくり	1-② 健やかな成長と自立を育む地域づくり	(3) 自らからつくりだす生活と暮らしの地域づくりを推進します	<p>日常生活支えあい促進事業 <small>地域福祉活動事例集 事例番号45参照</small></p> <p>事業目的 高齢化の進行、核家族化やライフスタイルの多様化、中山間地の過疎化などが進行する一方で、地域に住む高齢者やしょうがい者、子育て世代など、日常生活を送るうえでさまざまな生活課題や日常生活の不便さを感じる方も増加しています。地域住民が主体的に地域のさまざまな生活課題の解決に向けて取り組むことを目的として、地域支援組織（生活支援ボランティア組織・NPO等）の設立・活動支援をおこないます。</p> <p>○取り組み地区件数</p> <table border="1" data-bbox="454 541 1448 682"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区件数 (件)</td> <td>未実施</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 日常生活を送るうえで様々な生活課題や不便さを感じる方に対し、地域住民同士の生活支援ボランティア活動の育成と活動の支援を行います。 現在は神田地区と余呉地区で活動の取り組みが進められており、活動の充実を目的として活動用具の貸与、保険加入、活動者研修会や運営費の援助等の助成を実施しています。 【事業報告シートp. 12・13】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	地区件数 (件)	未実施	2				3	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
			地区件数 (件)	未実施	2				3										
評価コメント	日常生活に手助けが必要な方に対して身近な地域のボランティアが支援を行うことで、多様化する生活課題に対して柔軟な対応が進められている。 住民同士の支えあいのボランティア活動の立ち上げや、活動の維持・継続支援で実施することで住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりが推進されている。 活動に応じて支援をメニュー化することで、支えあい活動の拡充が図られ、ひとり暮らし高齢者の方などへの支援体制が構築されている。 今後は未実施地区でも取り組みが行われるよう、生活支援ボランティア活動団体の拡充が求められる。																		
主な事業成果 および課題	【成果】 ・主体的に生活支援ボランティア活動に取り組む団体を支援することで、多様化する生活課題に対応できる地域の基盤づくりを進めることが出来ている。 ・研修会の開催や活動周知支援をとおして、地域住民に対して生活支援ボランティア活動の必要性を広め、活動への理解と参加を進めることができています。 【課題】 ・市内全域での取り組みに向けたボランティア組織の立ち上げが求められており、地域の福祉団体等との連携・協働がますます必要である。																		
主な参加者・住民の 評価・声	・ボランティアさんが畑を手伝ってくれるので気軽に頼めてありがたいです。 （ひとり暮らし高齢者） ・遠く離れて暮らす娘や息子に頼みごとがしにくいので、近くの方が助けて下さるのは本当に助かります。（ひとり暮らし高齢者） ・安心して地域で暮らすお手伝いが出来てうれしいです。（ボランティア活動者） ・いつまでも安心して、住み慣れた自宅や地域で暮らせる、そんな支援をしていきたいです。 （ボランティア活動団体代表者）																		

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																							
地域福祉活動の推進 見守りで支えあう地域づくり	③ 見守りで支えあう地域づくり	(1) 地域の見守り活動の推進	<p>福祉委員支援事業 地域福祉活動事例集 事例番号2参照</p> <p>事業目的 福祉委員による見守り活動を推進するため、各地区や自治会に設置された福祉委員活動を支援し、未設置地区・自治会への取り組みを促進します。</p> <p>○設置自治会数・率</p> <table border="1" data-bbox="454 499 1448 730"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会数 (自治会)</td> <td>191</td> <td>202</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>238</td> </tr> <tr> <td>率 (%)</td> <td>44.8</td> <td>47.4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 地域福祉活動のリーダー的存在として、福祉活動に取り組む福祉委員を支援することで、見守りで支えあう地域づくりを推進します。 自治会や地区社協（福祉の会）での取り組みを進めるため、活動相談や研修会を開催しています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="454 1024 943 1381"> <p>福祉委員設置自治会数の推移</p> </div> <div data-bbox="973 1024 1448 1381"> <p>福祉委員設置自治会率の推移</p> </div> </div> <p>【事業報告シートp. 14】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	自治会数 (自治会)	191	202				238	率 (%)	44.8	47.4				56	<p>評 価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果 および課題</p> <p>主な参加者・住民の 評価・声</p>	<p>【A】達成できている</p> <p>地域福祉活動の担い手である福祉委員を新たに設置する自治会の支援、また、既設置自治会への支援により、地域の担い手の増加や活動の充実が図られ、見守りで支えあう地域づくりが進められている。 福祉委員の設置に関する相談支援を重点的に取り組み設置自治会数の伸びにつながっている。また、福祉委員活動に関する研修会の開催をとおして既設置自治会の活動拡充に取り組むことができている。 今後も、福祉委員が身近な地域福祉活動の中心的存在として活動できる支援や新規設置支援が求められている。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉委員がサロン活動や見守りの活動を行うことでお互いに支えあう地域づくりの推進に取り組んでいる。 自治会や地区における身近な福祉の担い手として新たに設置、また、既存活動の充実などを目的とした相談支援により、福祉委員の設置の推進が図られている。 「福祉委員活動事例集」を作成し、広く福祉委員活動の必要性と活動への理解と関心を高める啓発活動が進められた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉委員の設置自治会数が半数以下に留まっている現状の中で、意識向上の研修会などを通じた新たな設置のための取り組みが必要である。 福祉委員への研修会を通して、福祉課題への取り組みや活動の質向上を目指した支援が必要である。 <p>福祉委員を設置し自治会の福祉活動が活性化しました。（自治会長） 福祉委員を設置したいが人材が見つからない。（自治会長） 近いところの取組み（市内の活動事例）を教えてもらい、自分たちの地域づくりの参考にしたい。（福祉委員） 福祉委員さんが何かと母の様子を気にして（見守り）いただけるので心強いです。（ひとり暮らし高齢者と離れて暮らす娘）</p>
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
			自治会数 (自治会)	191	202				238																	
率 (%)	44.8	47.4				56																				

おせえ町の地域福祉	1-3 見守り支援あう地域づくり	(1) 地域の見守り活動を促進します	<p>地域除雪支援事業 地域福祉活動事例集 事例番号46参照</p> <p>事業目的 自治会内での除雪活動を推進し、高齢者世帯やしょうがい者世帯の生活道路の確保や安全確保につなげます。</p> <p>○支援自治会数・率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会数 (自治会)</td> <td>未実施</td> <td>61</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>率 (%)</td> <td>未実施</td> <td>14.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>59</td> </tr> </tbody> </table> <p>※支援率 分母426自治会 実施状況報告 要援護者世帯等(高齢者世帯およびしょうがい者世帯等)に対する地域の除雪活動を支援(傷害保険加入、小型除雪機貸出)し、地域の見守り支援あいの活動を推進しています。(平成26年度新規事業) 【事業報告シートp. 14・15】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	自治会数 (自治会)	未実施	61				250	率 (%)	未実施	14.3				59	評 価	【B】 おおむね達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
自治会数 (自治会)	未実施	61				250																				
率 (%)	未実施	14.3				59																				
評価コメント	地域の除雪支援活動をととして要援護者世帯に対する地域の見守り支援あいの体制作りが進められた。61自治会で取り組みが展開され1,000件を超える要援護者世帯への除雪活動、見守り活動が展開された。 今後さらに取り組み自治会を拡充し、誰もが安心して暮らせる地域の基盤づくりが求められる。	主な事業成果 および課題	【成果】 ・自治会内の高齢者やしょうがい者世帯等が安心して生活できるとともに、地域で支援あう体制をつくれる。	主な参加者・住民の 評価・声	・大雪の時は、地域のみなさんにたすけてもらえると聞いて安心しました。 (ひとり暮らし高齢者) ・今までけがや事故の補償がない中、除雪活動をしてきましたが、保険加入をしてもらうことで安心して活動することができるようになりました。(自治会長)																					
おせえ町の地域福祉	1-3 見守り支援あう地域づくり	(2) 福祉サービスの適切な利用を促進します	<p>ふれあい電話事業 地域福祉活動事例集 事例番号21参照</p> <p>事業目的 市内のボランティアの協力のもとに、自宅に電話をかけ、季節の話や健康のことなど身近な話題についてお話しし、あたたかい声かけと安否の確認を行います。</p> <p>○利用者数・実施(相談)件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数 (人)</td> <td>119</td> <td>111</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>実施件数 (件)</td> <td>2,366</td> <td>2,357</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2,700</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 ひとり暮らし高齢者等の方に対して、ボランティアによる安否確認・日頃の生活、悩みの相談を行い、社会的孤立感の解消や見守り活動を進めています。また、ボランティアを対象とした研修会等を開催し、相談の質を高める取り組みを進めています。 ふれあい電話ボランティアを対象としたコミュニケーション研修会実施し、コミュニケーション能力の向上を図っています。 新規登録者：6人 脱退者：14人(死亡、施設入所、転居による) 【事業報告シートp. 15・16】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	利用者数 (人)	119	111				150	実施件数 (件)	2,366	2,357				2,700	評 価	【B】 おおむね達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
利用者数 (人)	119	111				150																				
実施件数 (件)	2,366	2,357				2,700																				
評価コメント	ひとり暮らし高齢者等に対する社会的孤立感の解消や見守り活動が、地域ボランティアによって進められている。悩みや相談を民生委員や専門機関等につなげることで、利用者の不安や悩みごとの解消に向けた取り組みが進められている。 ケアマネージャー等へ利用促進の周知活動を行っているが、登録者数が減少しているため、民生委員や福祉事業者等との連携を図り利用につなげる取組みが求められている。	主な事業成果 および課題	【成果】 ・電話相談をととして、安否確認や悩みごとの相談が気軽にできる環境がつけられている。 ・電話でのコミュニケーションを通じて、ひとり暮らし高齢者等の社会的孤立感を軽減できている。 ・ふれあい電話ボランティアに対する研修会を実施し、コミュニケーションスキルの習得と交流によるコミュニケーションのスキルアップが実施できている。 【課題】 ・利用者数が減少傾向にあり、民生委員や福祉事業者等との連携で支援を必要との方の登録を進める必要がある。	主な参加者・住民の 評価・声	・いつも電話がかかってくることを心待ちにしています。(ふれあい電話利用者) ・コミュニケーションの勉強もできて活動に活かせることができました。(ボランティア) ・地域のひとり暮らし高齢者には、気軽な電話相談があるとありがたいです。(民生委員) ・相談ごとを、民生委員さんや関係機関の方につなげてくださり、親身になってくださるので感謝しています。(ふれあい電話利用者) ・ふれあい電話を利用された方が、楽しそうにふれあい電話の話をしていただき、利用していただいてよかったです。(ケアマネージャー)																					

1-③ 見守りで支えあう地域づくり

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況	評価																																											
おやむねの地域づくり	1-③ 見守りで支えあう地域づくり	(1) 地域の見守り活動を促進します	<p>地域見守り活動推進事業 地域福祉活動事例集 事例番号3参照</p> <p>事業目的 要援護者を対象に、万が一の災害時や日ごろから地域での見守り活動を推進し、たすけあい・支えあいの基盤・関係づくりを促進します。</p> <p>○取り組み支援自治会数・率</p> <table border="1" data-bbox="454 541 1451 772"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会数 (件)</td> <td>11</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>率 (%)</td> <td>2.5</td> <td>2.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※取り組み率 分母426自治会</p> <p>実施状況報告 見守り活動を支援し、自治会内の見守り体制の充実と住民意識の向上に努めています。 長浜市の「避難支援・見守り支えあい制度」を活用した情報管理や、自治会内の見守り活動情報をマップ化する「防災・福祉マップ作り」など、見守りと支えあいの地域づくり活動を行っています。</p> <p>○啓発活動・研修会等の開催（地区別）</p> <table border="1" data-bbox="454 1129 1451 1360"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>19</td> <td>33</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>実施地区 (%)</td> <td>60</td> <td>73</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table> <p>※実施地区率 分母15地区 ※実施地区数は同地区内で複数開催している場合もあるため、実施回数と一致しません。</p> <p>実施状況報告 参加者数：1,877人 見守り活動の啓発研修を実施することで、新たな自治会での活動の呼びかけを行い、更に多くの地域での活動を推進しています。 また、活動自治会に対して、見守り活動の情報更新や先進地事例の紹介、意識向上のための学習会等を実施することで活動の充実に努めています。</p> <p>【事業報告シートp. 16・17】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	自治会数 (件)	11	11				20	率 (%)	2.5	2.5				4.7	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施回数 (回)	19	33				27	実施地区 (%)	60	73				67	評 価	【B】 おおむね達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																						
			自治会数 (件)	11	11				20																																						
			率 (%)	2.5	2.5				4.7																																						
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																									
実施回数 (回)	19	33				27																																									
実施地区 (%)	60	73				67																																									
評価コメント	<p>見守り活動と防災活動をつなぐことで、自治会や地域の防災と福祉への関心を高めた活動が展開できている。</p> <p>平成26年度は11自治会での取り組みを進め、延べ33回の研修会等を実施し、見守り活動に対する関心の高まりや次活動意欲の向上が図られた。</p> <p>住民同士による見守りの仕組みづくりは、災害時だけでなく日ごろから安心して地域で暮らせるための仕組みをつくるため、今後も継続した取り組みが必要である。</p>																																														
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 希薄化しつつある地域のつながりを再構築する取り組みが進められた。 自治会でのきめ細やかな見守り活動により、要援護者（ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、しょうがいのある方等）が、災害時だけでなく日ごろから安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいる。 																																														
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 自治会ぐるみの見守り体制は全住民の安心と安全のために必要な活動で、社協の支援を期待しています。（見守り活動を実施している自治会長） 民生委員ひとりでは見守り活動が十分に行えないため、自治会をあげて見守り活動に取り組んでもらえることは、とてもありがたいです。（民生委員） 研修会に参加して、防災・福祉マップづくり等の取り組みが必要であると感じ、次年度に取り組みを計画したいと考えています。（啓発研修会に参加した自治会長） 																																														

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																																					
地域づくりの目標	1-③ 見守りで支えあう地域づくり	(1) 地域の見守りの活動を促進します	<p>歳末たすけあい運動 地域福祉活動事例集 事例番号7参照</p> <p>事業目的 地域のたすけあいやささえあいの活動を広げ、だれもが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、各事業を実施します。</p> <p>○歳末たすけあい運動 実施件数</p> <table border="1" data-bbox="454 499 1448 638"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施件数 (件)</td> <td>1,917</td> <td>1,824</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 みんなでささえあうあったかい地域づくりをスローガンに地域住民の理解と協力（募金）を基盤として、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で少しでも健やかに暮らせることを目的として、歳末たすけあい運動を実施しました。</p> <p>実施事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者等そうじ支援事業 235件 ・歳末おせち料理配食事業 1,147件 ・特別支援学級等学用品支援事業 260名 ・要保護世帯図書カード支援事業 90名 ・福祉施設・団体等歳末行事支援事業 36件 ・小児病棟クリスマス訪問事業 56名 ・緊急食糧給付事業 <p>【事業報告シートp. 17・18】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施件数 (件)	1,917	1,824				2,000	評 価	【B】 おおむね達成できている																					
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																
実施件数 (件)	1,917	1,824				2,000																																		
<p>評価コメント</p> <p>新たな年を迎えるにあたって、多くの住民の理解と協力を得ることで、地域で支援が必要な方を温かく見守る運動が展開できている。</p> <p>活動の基盤となる募金額が減少傾向にあるため、地域実情・ニーズに応じた事業内容の見直しや住民の理解と関心を深めるための広報活動の強化等の取り組みが必要である。</p> <p>主な事業成果および課題</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員児童委員や福祉関係団体との連携・協働の取り組みにより、支援を必要とする人たちの孤立感の緩和や地域との交流活動が進められている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募金額の減少を改善するため、歳末たすけあい運動の趣旨や取り組みを効果的に啓発・周知することでより多くの市民の理解を深める必要がある。 <p>主な参加者・住民の評価・声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなさんに助けてもらえて、あたたかい気持ちで新年を迎えることが出来ました。（そうじ支援利用のひとり暮らし高齢者） ・ひとりで過ごす正月ですが、おせち料理をいただき正月を楽しめました。（おせち料理配食を受けたひとり暮らし高齢者） ・入院生活を送る子どもの楽しそうな笑顔をみるのが出来てうれしかったです。（小児病棟クリスマス訪問入院患者保護者） 	<p>【B】 おおむね達成できている</p> <p>よろず相談は、日常生活上の悩みや心配ごとに対する助言、専門機関への紹介等をおこなうことで、市民の身近な相談窓口として体制の整備が進められている。法律相談は開催日数の増加により、前年比より大幅な相談に対応することができた。</p> <p>よろず相談は、前年度と比較すると相談件数が減少傾向にあるため、周知・啓発活動の見直しの検討が必要である。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的な法律相談から日常の心配ごとの相談まで幅広い相談に応じ、市民の身近な相談窓口となるよう運営できている。 ・法律相談の開催回数を増やしたことにより、より多くの相談に対応できるようになった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よろず相談件数が減少傾向にあるため、積極的な啓発・周知活動が求められている。 <p>主な参加者・住民の評価・声</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父親の相続について悩んでいたが、丁寧に教えてもらい大変よくわかりました。（よろず相談者） ・弁護士に相談するのは敷居が高く思っていたが、実際に無料で相談できて、困りごとにも的確にアドバイスがいただけて非常にありがたかった。（法律相談利用者） 																																							
		(2) 福祉サービスの適切な利用を促進します	<p>総合相談・よろず相談事業 地域福祉活動事例集 事例番号34参照</p> <p>事業目的 専門相談員による生活相談所を開設・運営し、地域住民の身近な相談機関として日常生活上の悩みや心配ごとに対応し信頼感と親しみある相談窓口を提供します。</p> <p>○よろず相談・法律相談 相談件数</p> <table border="1" data-bbox="454 1465 1448 1696"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数 (件)</td> <td>337</td> <td>246</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>【よろず】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>相談件数 (件)</td> <td>72</td> <td>132</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>144</td> </tr> <tr> <td>【法律】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 日常生活の悩みや心配ごとに対する相談を受けることで、市民の身近で気軽に相談できる事業として開催しています。</p> <p>また、専門的な相談に対応するため、弁護士による法律相談を開催し、幅広い市民の生活相談に応じています。平成26年度より法律相談の開催を月2回に増やしました。。</p> <p>【事業報告シートp. 18】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	相談件数 (件)	337	246				400	【よろず】							相談件数 (件)	72	132				144	【法律】							評 価	【B】 おおむね達成できている
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																																		
相談件数 (件)	337	246				400																																		
【よろず】																																								
相談件数 (件)	72	132				144																																		
【法律】																																								

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																														
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">おせわの地域づくり</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">1-③ 見守りで支えあう地域づくり</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(2) 福祉サービスの適切な利用を促進します</p>	<p>権利擁護センター事業（後見サポートセンター） <small>地域福祉活動事例集 事例番号32～33参照</small></p> <p>事業目的 判断能力等の低下により、福祉サービスの適切な利用や日常生活に支援が必要な方に対して、成年後見制度の適切な利用や地域福祉権利擁護事業により日常生活支援を実施します。</p> <p>○成年後見援助件数・権利擁護利用者数、支援回数</p> <table border="1" data-bbox="454 541 1448 865"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>援助回数（回） 【後見】</td> <td></td> <td>188</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>利用者数（人） 【権利擁護】</td> <td>194</td> <td>211</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>支援回数（回） 【権利擁護】</td> <td>6,893</td> <td>7,974</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8,700</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 認知症や知的・精神しょうがい等により、判断能力の低下または不十分な方が地域で安心して生活できるように、成年後見業務の受任と地域福祉権利擁護事業の実施、成年後見制度利用に関する相談、普及啓発活動、利用申請支援、等を実施しています。</p> <p>・主な事業内容 成年後見サポートセンター事業（相談・利用申請支援・広報啓発活動） 地域福祉権利擁護事業 法人後見事業</p> <p>【事業報告シートp. 19】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	援助回数（回） 【後見】		188				45	利用者数（人） 【権利擁護】	194	211				230	支援回数（回） 【権利擁護】	6,893	7,974				8,700	<p>評 価</p>	<p>【A】達成できている</p>
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																								
			援助回数（回） 【後見】		188				45																								
			利用者数（人） 【権利擁護】	194	211				230																								
支援回数（回） 【権利擁護】	6,893	7,974				8,700																											
<p>評価コメント</p>	<p>市民の成年後見制度等に対する身近な相談・支援機関としての機能が整備されている。普及啓発活動に重点を置き、市民向け講座や福祉事業所向け講座などの啓発、出前講座・出張相談会等の取り組みが進められた。窓口での相談業務と併せて専門職が地域に出向いて対応するなど、柔軟で相談者に寄り添った活動が実施されている。</p> <p>また、地域福祉権利擁護事業については、利用者数の増加が顕著であることから、事業運営に適切な体制の維持が求められる。</p>																																
<p>主な事業成果および課題</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 判断能力の不十分な方の権利を守り、地域で安心して生活が送れるよう基盤整備が進められている。 関係機関や福祉団体、福祉事業者、市民に対し、44 団体への出前講座、5 回の相談会の開催を行い、成年後見制度に対する理解と関心を高められた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関や福祉団体、福祉事業者との連携をさらに深め、必要な方に必要な制度の利用・支援が行える環境づくりが求められている。 																																
<p>主な参加者・住民の評価・声</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福祉事業者向け研修を受け、成年後見制度の概要について理解することができてよかった。利用者の方が必要となった場合に適切に利用できるよう今後もセンターと連携していきたい。（介護専門職） 金融機関で成年後見制度の利用が必要と言われたが、専門相談窓口があって本当に助かりました。（認知症高齢者の家族） 																																

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																
だしかいなの人びと	2-① 参加と交流を育む環境づくり	(1) 地域でともに支えあう意識を高める機会を充実します	<p>福祉教育推進事業 地域福祉活動事例集 事例番号31参照</p> <p>事業目的 体験学習・ボランティア活動等を通し福祉への理解と関心を深め、思いやりの心や命の大切さを育てるとともに地域でともに支えあう関係づくり・意識を高めます。</p> <p>○福祉教育実施件数</p> <table border="1" data-bbox="454 590 1448 726"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施件数 (回)</td> <td>275</td> <td>303</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報 体験学習やボランティア活動等を通して福祉への理解と関心を深める活動に取り組んでいます。 市内の小中学校や高等学校、企業、自治会等に対して、様々な福祉教育のプログラムを企画、実施し、「命」の大切さや「思いやり」「たすけあい」の心を育てることで、福祉の関心を深め、ともに支えあう関係づくりや意識づくりに取り組んでいます。 【主な福祉体験プログラム】 ・アイマスク体験・要約筆記体験・車いす体験・高齢者疑似体験・各種ボランティア体験等 【事業報告シートp. 21】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施件数 (回)	275	303				250	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
実施件数 (回)	275	303				250													
評価コメント	<p>体験学習やボランティア体験をとおして福祉への理解や関心を深める活動が推進され、教育機関、仕事や暮らしの場などで303件の福祉教育が展開された。 福祉教育は地域で支えあう意識を高め、福祉に触れる機会を持ち、人と学びあうことで「福祉の芽」が育っている。今後も社会課題や世代に応じた体験プログラムを開発し、理解と関心を深める取り組みが求められる。</p>																		
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育機関に対して福祉教育プログラムを提供し、市内33の小中学校で福祉教育が取り組まれた。 体験をとおした学びや、自分で考えるプログラム構成を採用し、福祉に対する理解や関心を深めることができている。 生涯学習や人権学習として自治会や企業への福祉教育を実施することにより福祉に対する理解や関心を深めることができている。 																		
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 学年に合わせた福祉教育プログラムが組まれているので、授業に取り組みやすく、分かりやすいです。(小学校教員) 福祉教育後に、自分から高齢者やしょうがい者への声掛けができる児童が増えました。(小学校教員) 高齢者疑似体験をして、高齢者の生活の大変さがわかりました。これからは自分にできる事はお手伝いしたいと思います。(中学生) 																		
だしかいなの人びと	2-① 参加と交流を育む環境づくり	(1) 地域でともに支えあう意識を高める機会を充実します	<p>福祉出前講座 地域福祉活動事例集 事例番号16参照</p> <p>事業目的 福祉出前講座をとおして、福祉に関する知識や技術を習得し、特技を活かしたボランティア活動や地域福祉活動を担う人材の育成を促進します。</p> <p>○講座開催数（技術習得）</p> <table border="1" data-bbox="454 1451 1448 1587"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>5</td> <td>21</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 社協の専門職を講師として、市民の福祉や介護に対する理解と関心を高め、地域ぐるみの福祉活動が展開されることを推進しています。 【事業報告シートp. 22】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施回数 (回)	5	21				40	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
実施回数 (回)	5	21				40													
評価コメント	<p>住民の身近な福祉学習の場として、福祉に関する知識と技術習得を進め、地域の人材育成が推進されています。今後も地域ニーズに応じたプログラム開発が必要です。</p>																		
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術の習得だけでなく、習得した技術や知識を活かせるよう、日ごろの暮らしの中の福祉の視点や支援について学習できるプログラムが構築できている。 介護や認知症のことなどを「他人ごと」でなく「自分ごと」として考えられる意識づけや、支援などの活動に結びつく講座が開催できている。 																		
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 介護や病気のことは難しいと思い込んでいましたが、楽しく、わかりやすく教えていただき、少し意識が変わりました。(介護講座受講者) 資格がないとできないことばかりだと思っていたが、普段の生活のなかでもできることがあると気づききっかけになった。(介護講座受講者) 認知症や介護などは、他人ごとではなく将来的には自分のことでもあるので、支援のためだけでなく、自分のためとしても聞くことができました。(介護講座受講者) 認知症者が増えているとテレビでは聞いていましたが、今回の講座を受けて、自分たちにもできる事がわかって良かったです。できる事から実践していきたいと思います。(介護講座受講者) 																		

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																							
だしかいなの人づくり	2-① 参加と交流を育む環境づくり	(1) 地域でともに支えあう意識を高める機会を充実します	<p>ボランティア養成講座 地域福祉活動事例集 事例番号25参照</p> <p>事業目的 ボランティア活動に必要な技術等を学び、地域福祉活動・ボランティア活動に関わりを持つきっかけと生きがいづくりを促進します。</p> <p>○講座開催数・受講者数</p> <table border="1" data-bbox="457 499 1448 730"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講座数</td> <td>6</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>受講者数 (人)</td> <td>539</td> <td>828</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 しょうがいへの理解、ボランティア活動の理解、子どもや親子等を対象とした福祉テーマ型のボランティア講座を開催することで地域の福祉活動やボランティア活動への取り組みのきっかけづくりを推進しています。 また、ボランティア講座をとおして、ボランティア活動者のスキルアップや活動環境の充実を図っています。 【事業報告シートp. 22・23】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	講座数	6	7				6	受講者数 (人)	539	828				600	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
講座数	6	7				6																				
受講者数 (人)	539	828				600																				
評価コメント	7講座、828人の参加者がボランティア活動に必要な技術や知識を学ぶことで、地域福祉活動やボランティア活動に関わりを持つきっかけづくりが展開された。受講後にボランティア活動に参加できる環境、機会を提供し新たなボランティア活動者の増加が図られている。 今後もボランティア養成講座でボランティア活動に対する関心を高めるとともに、スキルアップや活動環境の充実を進めることが求められている。																									
主な事業成果および課題	【成果】 ・ボランティア活動に対する理解と関心を高め、ボランティア活動へのきっかけづくりができています ・養成講座後のコーディネートにより、ボランティア活動者の確保につながり、ボランティア活動の安定につながっている。 ・ボランティア活動者のスキルアップを図ることで、活動の充実を図れている。 【課題】 ・女性の参加に比べ男性の参加が少ないため男性が輝けるボランティア養成講座の企画が必要である。																									
主な参加者・住民の評価・声	・養成講座に参加し、自分にもボランティアできる事ができたので、活動していきたいと思えます。 ・養成講座後に、興味のあるボランティアグループを紹介していただいたので、楽しくやりがいを持ってボランティア活動に取り組んでいます。(受講者)																									
(3) 活動への参加に役立つ情報提供を推進します	2-① 参加と交流を育む環境づくり	(3) 活動への参加に役立つ情報提供を推進します	<p>広報啓発事業 地域福祉活動事例集 事例番号5参照</p> <p>事業目的 福祉・介護に関する情報や地域の福祉活動を紹介・提供することで、市民の関心に合わせた地域福祉活動に参加できるよう広報誌の発行・ホームページの運用をおこないます。</p> <p>○広報紙・ボランティア情報紙発行回数</p> <table border="1" data-bbox="457 1444 1448 1675"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>発行回数(回) 【広報紙】</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>発行回数(回) 【ボランティア】</td> <td>14</td> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 市内全戸配布の広報誌、ボランティア活動者向けの情報誌の発行とホームページを運営し、福祉情報の提供や、福祉活動の取り組み紹介などによる福祉意識の向上、地域福祉活動への参加促進を図っています。 また、ボランティア活動などに対する必要な情報を提供し、事業参加の呼び掛けや、交流のきっかけづくりに取り組んでいます。 【事業報告シートp. 23・24】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	発行回数(回) 【広報紙】	4	4				4	発行回数(回) 【ボランティア】	14	18				15	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
発行回数(回) 【広報紙】	4	4				4																				
発行回数(回) 【ボランティア】	14	18				15																				
評価コメント	福祉情報を提供することで、市民の地域福祉に対する参加促進と意識向上が図られている。今後も、地域住民の福祉に対する理解や関心を高めるため、市内の地域福祉活動や福祉制度情報等よりわかりやすく伝えていく必要がある。																									
主な事業成果および課題	【成果】 ・イベントや事業に対し「広報誌をみて応募した」という参加者が増えてきており、広報紙を媒体とした情報提供の効果が表れている。																									
主な参加者・住民の評価・声	・広報誌を見て楽しそうなので事業に参加応募しました。(参加者) ・私にも何かできる事があれば協力したい。(広報誌を読んだ住民)																									

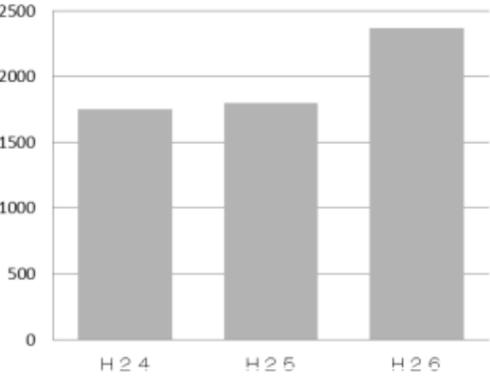
基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況		2-① 参加と交流を育む環境づくり														
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">だしかいなの人びと</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2-① 参加と交流を育む環境づくり</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(1) 地域でともに支えあう意識を高める機会を充実します</p>	<p style="text-align: center;">社会福祉大会 地域福祉活動事例集 事例番号15参照</p> <p>事業目的 福祉講演会・小地域福祉活動の実践者による活動報告・ボランティア団体の活動発表等を行うことで、市民の福祉に対する理解と関心を深め、地域でともに支えあう意識を高めます。</p> <p>○社会福祉大会参加者数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>300</td> <td>362</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>330</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 福祉講演会や地域福祉活動者の実践報告、社会福祉功労者表彰等を通して、また、市内のボランティアやしょうがい者作業所、介護事業所との連携によるブース運営を行うことで、参加者の福祉に対する理解と関心を深め、地域でともに支えあう意識を高める機会づくりに取り組んでいます。</p> <p>【事業報告シートp. 24・25】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	参加者数 (人)	300	362				330		<p style="text-align: center;">【A】 達成できている</p> <p>評価コメント 市民の福祉活動に対する理解と関心を高める機会として取り組みができています。 平成26年度は「子どもの貧困」をテーマに、地域の子どもとその家庭を取り巻くつながりや、子どもと家庭への地域住民の支えあいについて考える機会がつけられることで、地区社協をはじめとする活動団体や活動者に対して、新たな支援の視点をつくることができた。 今後も社会的課題や地域福祉ニーズをテーマに、幅広い市民がつどい学習することで、地域でともに支えあう地域づくりの推進が求められる。</p> <p>主な事業成果および課題 【成果】 ・多様な立場、役割の方の参加と参画が図られることで交流が育まれ、福祉に対する理解と関心が深まり、地域でともに支えあう意識を高める機会をつくることができています。 ・「ひとりぼっちのないまちに」と題し、身近ではあるが関わりかけが難しくなっている子どもの貧困をテーマに子どもと家庭、それを取り巻く地域の支えあいについて考える機会がつけられた。</p> <p>主な参加者・住民の評価・声 ・子どもの貧困というテーマは、私達にはどうすることもできないと思い込んでいましたが、地域のみんなでできる支えあいもあることを学び、これからの活動に大いに生かしていきたいと感じました。(参加者：民生委員) ・福祉講演会を聞いて勉強になりました、自分たちにもできる事があれば、実践していきたいと思います。(参加者) ・子どもたちによる「福祉の絵」は、言葉だけでは伝えきれない、感情や思いが伝わってきました。(参加者)</p>
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
			参加者数 (人)	300	362				330										

2-② ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり（団体）

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																
だしかいなの人づくり	2-② ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり（団体）	(1) 地域の福祉団体活動を支援します	<p>福祉団体助成事業 地域福祉活動事例集 事例番号6参照</p> <p>事業目的 市内で活動する福祉団体が実施する福祉事業を支援することで福祉団体の育成、活動の促進を図ります。</p> <p>○支援事業数</p> <table border="1" data-bbox="454 499 1448 638"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業数 (件)</td> <td>8</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 市内の福祉団体の活動や取り組みに対する相談をとおして連携や協働の仕組みの構築や継続した事業展開の基盤（活動財源等の確保）を支援し各福祉団体による主体的な福祉活動を支えます。 【事業報告シートp. 25】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	事業数 (件)	8	11				13	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
			事業数 (件)	8	11				13										
			評価コメント	福祉団体の自主的・主体的な活動を支援することで、団体の使命や特徴を活かした活動・取り組みが推進されている。 今後も団体の支援活動をとおして、団体間の連携・協働体制の構築ができるよう取り組みが必要である。															
		主な事業成果および課題	【成果】 ・福祉活動団体と連携して地域福祉を推進するとともに、団体活動の育成と促進を図れる。																
		主な参加者・住民の評価・声	・ボランティアさんに参加してもらえることで幅広い活動ができるようになりました。（団体役員） ・助成により、事業の安定した継続が来ています。（団体事務局）																
		(2) 福祉団体のネットワーク、協働体制を推進します	<p>災害支援活動ネットワーク事業 地域福祉活動事例集 事例番号4参照</p> <p>事業目的 災害に関する地域内のネットワークを構築し、災害時でも強い地域づくりを促進します。</p> <p>○活動実施回数</p> <table border="1" data-bbox="454 1066 1448 1205"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数 (回)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 地域内の様々な組織や団体、福祉施設、企業等との協働による防災・減災活動をテーマとした活動を推進しています。継続して地域団体間の連携・協働体制のネットワークを構築することで、災害時だけでなく日ごろから地域の福祉課題やニーズに対応した地域ぐるみの福祉活動を推進する基盤づくりを推進しています。 【事業報告シートp. 25・26】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	実施回数 (回)	3	3				5	評 価	【B】おおむね達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
実施回数 (回)	3		3				5												
評価コメント	防災・減災活動を中心とした、地域組織のネットワーク化を進めることで、災害時だけでなく日ごろの地域福祉活動の活性化が図られている。 今後もより多くのネットワークへの参加を呼びかけ、地域内の幅広い連携、協働体制の構築が求められる。																		
主な事業成果および課題	【成果】 ・地域内の様々な立場の人が地区内の防災について学び、話し合うことにより、地域全体を対象とした防減災意識の向上が図れている。 ・勉強会を定期的で開催することでネットワーク活動を通じたつながりが、防減災活動だけでなく、地域の様々な福祉活動へと活かされている。 【課題】 ・ネットワークのつながりをより広く深くするため、新たな参加者を増やす取り組みが必要である。																		
主な参加者・住民の評価・声	・みんなで意見を出し合うと違う考え方もあり、見方が変わることもあった。（商店経営者） ・防災がきっかけで、みなさんとの顔つなぎの場になってよかった。（しょうがい者施設職員） ・防災や福祉の事を地域で考えていくきっかけになった。（参加者）																		

本 目 標	活 動 の 柱	取 り 組 み	活動事業および目標到達状況																	
だ し か い な の 人 づ く り	2-②	ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり（団体）	(1)地域の福祉団体活動を支援します	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ボランティア団体支援 地域福祉活動事例集 事例番号24参照</p> <p>事業目的 地域の福祉活動の担い手であるボランティア団体の活動・設立支援をおこない地域コミュニティの活性化とボランティア活動を推進します。</p> </div> <p>○ボランティア登録支援（登録）団体数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援団体数</td> <td>232</td> <td>237</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 市内で活動するボランティア団体等の活動支援や運営に関する相談・助言を行なうことでボランティア団体活動の充実や活動の継続を支援しています。 また、ボランティア団体の組織化やボランティア同士の連携・協働の機会を設けることで新たなボランティア活動の展開を図っています。 【事業報告シートp. 26】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	支援団体数	232	237				240	<p>評 価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果 および課題</p> <p>主な参加者・住民の 評価・声</p>	<p style="text-align: center;">【A】達成できている</p> <p>ボランティア団体の活動支援や登録、相談支援・助言等をとおしてボランティア活動の活性化・充実が推進されている。 平成26年度は237団体が登録しボランティア同士の連携・協働の基盤整備が進められた。</p> <p>【成果】 ・ボランティア登録を通して、社協やボランティア同士の交流や連携が深まっている。 ・活動資金の助成や民間助成金等の情報提供を行なうことで、資金面等での活動の安定が図られている。 ・ボランティア情報紙「えくすてんど」を発行し、ボランティア活動に対する地域住民の理解と関心を深める事が出来た。 【課題】 ・ボランティアセンターに登録していない団体も多くあるため、今後も積極的なアプローチを行ない、幅広いボランティアネットワークを構築することが求められている。</p> <p>・私たちの「やりたい」が実現できるよう応援してもらえてとても頼りにしています。（ボランティア団体長） ・ボランティア保険や助成の情報を発信してもらって助かります。（登録団体）</p>
				年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
支援団体数	232	237				240														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ボランティア連絡協議会支援 地域福祉活動事例集 事例番号26参照</p> <p>事業目的 地区内のボランティア団体が加入・参画する連絡協議会の支援をおこなうことで、団体間の連携・協働を深めボランティア活動の促進を図ります。</p> </div> <p>○ボランティア連絡協議会事業開催回数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>28</td> <td>49</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施状況報告 市内のボランティア連絡協議会の運営を支援することで地域内のボランティア団体・個人の交流・連携・協働・学習の場としての機能を充実させています。 また、ボランティア連絡協議会同士の協働・ネットワークづくりを進めることでボランティア活動に対するニーズへの対応や活動課題の解決に向けた取り組みを促進します。 【事業報告シートp. 27】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	28	49				35	<p>評 価</p> <p>評価コメント</p> <p>主な事業成果 および課題</p> <p>主な参加者・住民の 評価・声</p>	<p style="text-align: center;">【B】おおむね達成できている</p> <p>市内9つのボランティア連絡協議会は、地域のボランティア活動団体(者)の中核的な存在として、各地区で自主的に活動を展開することができている。地域の課題に応じた交流会や研修等の支援を行ない団体間の相互理解や協働体制の構築が推進されています。 今後も、幅広いボランティア団体の参画をのりもとボランティア活動の中核組織としての機能・事業活動の充実が求められている。</p> <p>【成果】 ・市内のボランティア連絡協議会の情報共有や事業(活動)を通して、日ごろからつながりが持てる関係づくりが推進できている。 【課題】 ・登録団体の減少や活動者の高齢化などが掲げられおり、解決に向けた取り組みが必要となっている。</p> <p>・どのボランティア連絡協議会も課題は同じ、うちだけでない。(V 連会長の声) ・ボランティア連絡協議会の交流会に参加して、同じ地域で活動するボランティアの皆さんと仲間になれてよかったです。(ボランティア) ・社会福祉大会での復興バザーでは、市内のボランティア連絡協議会を通じて知り合うきっかけをもらいよかったです(バザーでのボランティア活動者)</p>				
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30														
開催回数 (回)	28	49				35														

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																
だしかいなの人づくり	2-③ やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり	(1) 地域福祉を担う活動者の育成・支援を推進します	<p>地区社協研修事業 地域福祉活動事例集 事例番号1参照</p> <p>事業目的 地区社会福祉協議会(福祉の会)が構成員・地域住民を対象に行う、地域福祉などの研修会を支援することで地域福祉の活動者の育成・活動支援を推進します。</p> <p>○地区社協研修会等開催回数</p> <table border="1" data-bbox="454 499 1448 638"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数(回)</td> <td>29</td> <td>27</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 地域の福祉課題やニーズに対応した研修会等の開催を支援することで、地域内での福祉活動者の育成と地域福祉活動の更なる充実を図っています。 【事業報告シートp. 28】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数(回)	29	27				25	評 価	【A】達成できている
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30											
開催回数(回)	29	27				25													
(3) 地域福祉推進リーダー、コーディネーターを養成・支援します	<p>福祉委員推進事業 地域福祉活動事例集 事例番号2参照</p> <p>事業目的 地域の福祉活動・見守り活動を推進する福祉委員(地域福祉サポーター)に対する研修会等を開催し、福祉知識・援助技術の向上を図り地域福祉推進のリーダーを養成します。</p> <p>○福祉委員研修会等開催回数</p> <table border="1" data-bbox="454 1108 1448 1247"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数(回)</td> <td>10</td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 地域の福祉活動や見守り活動を推進する福祉委員に対する研修会を開催することで、福祉知識や援助技術の向上を図り、地域福祉推進のリーダーを養成しています。 【事業報告シートp. 28・29】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数(回)	10	11				11	評価コメント	地域で活動する人材の育成の場として、また市民の福祉に対する理解を深める場として各地域において27回、延べ1,490人が参加し身近な地域で活動する人材の育成が進められた。 今後も、地域の実情やニーズを把握し、それぞれの地域に応じた人材の育成と福祉活動の推進を図ることが必要である。		
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30													
開催回数(回)	10	11				11													
主な事業成果および課題	【成果】 ・地域住民が福祉に対する関心を高め、地域の活動者育成や新たな活動・取り組みへの展開が推進されている。																		
主な参加者・住民の評価・声	・認知症の人への対応方法を研修し、地域で研修の成果を活かした活動がしたい。(認知症研修参加者)																		
評 価	【A】達成できている																		
評価コメント	地域福祉のリーダー的役割を担う人材を養成する研修会を開催し、地域における福祉活動や見守り活動の活性化に取り組めた。活動の拡充を図るための研修会を11回開催し、地域の見守り活動の中心的人材の育成に取り組んでいる。 継続的な学習会等をとおしてスキルアップや、やりがいを持って活動に取り組めるリーダー養成プログラム等の開発が求められている。																		
主な事業成果および課題	【成果】 ・福祉活動や見守り活動に必要な福祉知識の拡充や、援助技術の向上を目的とした研修会を開催し、リーダー養成に取り組んでいる。 ・市内の福祉委員活動事例集を使用した周知、広報活動を行ない、未設置自治会への啓発や既設置自治会への活動の活性化につながった。 【課題】 ・福祉委員未設置地区に対する研修会参加の働きかけが必要である。 ・より充実した研修プログラムの開発が求められる。																		
主な参加者・住民の評価・声	・自治会においても様々な福祉活動に取り組んでいただいている方のため、今後もやりがいを持って活動できる研修会は必要だと思います。(自治会長) ・他所の活動事例や、意見交換を行う場(研修会)は活動の役に立つのでありがたいです。(福祉委員)																		

基本 目標	活動 の柱	取り 組み	活動事業および目標到達状況																
だ し か い な の 人 づ く り	2-③ やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり	(2) やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくりを推進します	<p>小地域サロン支援事業 地域福祉活動事例集 事例番号29参照</p> <p>事業目的 高齢者等の交流・コミュニケーションの場である小地域サロン活動の担い手を支援・育成し、充実したサロン活動を推進します。</p> <p>○サロン開催回数</p> <table border="1" data-bbox="454 499 1448 640"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>1,794</td> <td>2,365</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>サロン活動従事者数：延べ9, 492人 実施状況報告 サロンボランティアを対象とした交流会、レクリエーション等の講座の開催を通して、サロンボランティアの活動意欲の向上とレクリエーション等のスキル習得を図ることで、それぞれの身近な地域でサロン活動が展開、活性化できるよう支援しています。 【事業報告シートp. 29】</p>  <p style="text-align: center;">サロン開催回数の推移</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	1,794	2,365				2,000	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
開催回数 (回)	1,794	2,365				2,000													
評価コメント	小地域サロン活動者に対する学習会・交流会等を開催することで、活動の活性化やサロン活動内容の充実を図ることができた。平成26年度は市内各地で2, 365回開催され、延べ9, 492人のサロンスタッフが活動することができた。 サロン活動は高齢者等の地域の居場所・交流の場の役割を果たしており、サロンボランティアの育成を進めることで、より多くの交流が育まれている。																		
主な事業成果 および課題	【成果】 ・レクリエーション等の講座や交流会、出前講座等を通して、やりがいと楽しみを持って活動できる人材の育成を推進している。 ・男性の参加を増やす事を目的に交流会でコミュニケーション麻雀の紹介をおこない、サロンの運営を支援することにつながった。 ・サロンボランティアの声に寄り添いながら支援を行い、身近な相談に努めることができた。 【課題】 ・活動のマナー化や担い手の高齢化により、サロン運営が難しくなっている地域もあるため、気軽に簡単に楽しめるレクリエーションの講座や出前講座のプログラム開発が求められる。																		
主な参加者・住民の 評価・声	・サロン参加者の喜びや感謝の言葉が、サロン運営の原動力となっています。（サロンボランティア）																		
<p>しょうがい(児)者交流事業 地域福祉活動事例集 事例番号8~12参照</p> <p>事業目的 しょうがい(児)者支援事業をとおして、しょうがいに関する理解と関心を深め、ボランティア活動としての担い手を育成・支援します。</p> <p>○しょうがい(児)者交流事業ボランティア活動者数(延べ人数)</p> <table border="1" data-bbox="454 1367 1448 1507"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動者数 (延べ人数)</td> <td>115</td> <td>172</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 しょうがい児者およびその家族、ボランティアがつながりを持ち、しょうがい児者世帯の日常生活の充実と孤立防止を図るため余暇支援活動を推進しています。また、当事者とボランティアとの交流により、相互にいきいきと活動に取り組む関係づくりを促進しています。 ※療育レクリエーション…その場に集う人たちとの交流を深め、地域での孤立予防する サマーハウス…夏休みの親子活動により、夏休み生活の質的向上を図る ほのぼののかけはし…学習会を開催し、保護者が子どもの養育や将来を考える、話しあえる機会を提供する 料理サロン…調理を通じた生活訓練と参加者の交流を深める 元気クラブ…一般就労しょうがい児者の余暇活動の支援 【事業報告シートp. 30】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	活動者数 (延べ人数)	115	172				180	評 価	【A】達成できている			
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30													
活動者数 (延べ人数)	115	172				180													
評価コメント	しょうがい児者の余暇支援活動にボランティアが携わることでしょうがいに対する理解を深めるとともに、当事者とのふれあいの中で活動意欲の向上が図られている。																		
主な事業成果 および課題	【成果】 ・行事を通して、ボランティアのしょうがいに関する理解と関心を深めることができています。 ・しょうがい者とボランティアの交流を深めることができた。																		
主な参加者・住民の 評価・声	・しょうがいに対する理解と関心が深まり、ますますボランティア活動をやってよかったと思えるようになった。感謝されるとうれしい。（ボランティア） ・調理活動を通して、学校で学ぶ事も大切だが、地域での様々な人とのふれあいの中で子どもたちが体験して学ぶことも大切だと思った（料理サロンボランティア）。 ・しょうがい児の保護者と交流することで、様々な支援を求めておられることを知りました。自分にはなにができるだろうと考えるきっかけになりました。（サマーハウスボランティア）																		

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																
だしかいなの人づくり	2-③ やりがい・楽しみをもって頑張りあえる自分（人）づくり	(1) 地域福祉を担う活動者の育成・支援を推進します	<p>子育て支援事業（おもちゃ図書館） <small>地域福祉活動事例集 事例番号20参照</small></p> <p>事業目的 子育て支援事業をとおして、子育てに関する理解と関心を深め、ボランティア活動としての担い手を育成・支援します。</p> <p>○子育て支援ボランティア活動者数(延べ人数)</p> <table border="1" data-bbox="454 499 1448 638"> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> <tr> <td>活動者数 (延べ人数)</td> <td>114</td> <td>117</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>170</td> </tr> </table> <p>実施状況報告 おもちゃ図書館を通して、子育て支援に関する人材の育成を図っています。おもちゃ図書館のボランティアとして子育てに関する理解と関心を深め、地域ぐるみの子育て支援環境の充実を図っています。 【事業報告シートp. 30・31】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	活動者数 (延べ人数)	114	117				170	<p>評 価</p> <p>【B】 おおむね達成できている</p>	
		年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30											
活動者数 (延べ人数)	114	117				170													
(1) 地域福祉を担う活動者の育成・支援を推進します	<p>中山間地域支援事業（ワークキャンプ） <small>地域福祉活動事例集 事例番号17参照</small></p> <p>事業目的 限界集落の地域活動の活性化・地域課題の解決を図るため、ボランティアの育成・活動支援を推進します。</p> <p>○ボランティア活動者数(延べ人数)</p> <table border="1" data-bbox="454 1178 1448 1316"> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> <tr> <td>活動者 (延べ人数)</td> <td>119</td> <td>228</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>250</td> </tr> </table> <p>実施状況報告 学生ボランティア団体と連携し、市内の中山間地域の生活課題の緩和や地域の活性化に取り組むことで地域交流の大切さや地域課題に向きあう若年層ボランティアの育成を推進しています。 【事業報告シートp. 31・32】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	活動者 (延べ人数)	119	228				250	<p>評 価</p> <p>【A】 達成できている</p>	<p>評価コメント</p> <p>中山間地域における生活課題や地域課題に焦点を当て、ボランティアの人材育成が進められた。若年層・青年層世代に対するボランティア活動・地域福祉活動への参画の基盤づくりの推進をとおして中山間地域の抱える生活課題の軽減と互いにたすけあい、支えあう地域づくりが必要である。</p> <p>主な事業成果 および課題</p> <p>【成果】 ・中山間地域における地域課題緩和を目的とした取り組みをとおして若者と地域住民との交流や人材の育成、地域活動の活性化が図られている。 【課題】 ・継続的に中山間地域における地域課題解決を支援する活動者（ボランティア）の育成を推進する必要がある。</p> <p>主な参加者・住民の 評価・声</p> <p>・地域の人たちとの話がとても楽しく、感謝してもらえてとてもうれしかった。（学生ボランティア） ・同じ長浜市でも環境の違いを感じました。今度は近所の方にも声をかけて参加したいと思います。（一般ボランティア） ・今どきの若い子は頼りないと思っていたが一緒に作業するとなかなか根性があった頼もしかった。また一緒に頑張りたい。（地域住民）</p>		
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30													
活動者 (延べ人数)	119	228				250													

基本 目標	活動 の柱	取り 組み	活動事業および目標到達状況																							
			<p>福祉教育推進事業 地域福祉活動事例集 事例番号31参照</p> <p>事業目的 福祉教育を推進することで、地域福祉やボランティア活動に対する理解と関心を深め、地域福祉の担い手となる活動者を育成します。</p> <p>○福祉教育受講者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受講者数 (人)</td> <td>8,789</td> <td>8,909</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 福祉教育を通じて、子どもから大人まで地域福祉やボランティア活動等に対する理解と関心を深め、福祉活動の担い手となる人材の育成を推進しています。 【事業報告シートp. 32】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	受講者数 (人)	8,789	8,909				9,500	評 価	【A】達成できている							
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																				
受講者数 (人)	8,789	8,909				9,500																				
だ し か い な の 人 づ く り	2- ③ や り が い ・ 楽 し み を も っ て 頑 張 り あ え る 自 分 （ 人 ） づ く り	① 地 域 福 祉 を 担 う 活 動 者 の 育 成 ・ 支 援 を 推 進 し ま す	<p>ボランティアコーディネート業務 地域福祉活動事例集 事例番号23参照</p> <p>事業目的 ボランティア業務を担当する職員を配置し、ボランティア活動希望者と支援希望者のニーズを調整します。</p> <p>○ボランティアコーディネート件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数 (件)</td> <td>287</td> <td>322</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>230</td> </tr> <tr> <td>内ニーズ調整相談件 (件)</td> <td>266</td> <td>232</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ボランティア活動保険加入者数 26年度 3,503人</p> <p>実施状況報告 ボランティアをしてほしい人とボランティアをしたい人をつなげるコーディネート業務を通じて、ボランティア活動者がやりがいを持って活動できる環境づくりを推進しています。 また、毎月発行する情報誌の発行やボランティア活動保険の取り扱い等、ボランティア活動の充実に向けた取り組みを進めています。 【事業報告シートp. 32・33】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	相談件数 (件)	287	322				230	内ニーズ調整相談件 (件)	266	232					評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
相談件数 (件)	287	322				230																				
内ニーズ調整相談件 (件)	266	232																								
			<p>○ボランティア活動保険加入者数 26年度 3,503人</p> <p>実施状況報告 ボランティアをしてほしい人とボランティアをしたい人をつなげるコーディネート業務を通じて、ボランティア活動者がやりがいを持って活動できる環境づくりを推進しています。 また、毎月発行する情報誌の発行やボランティア活動保険の取り扱い等、ボランティア活動の充実に向けた取り組みを進めています。 【事業報告シートp. 32・33】</p>	評価コメント	教育機関や企業などの学習の場で福祉教育を進め、延べ8,909人が福祉に対する理解を深め、これからの福祉活動、ボランティア活動を担う人材の育成に取り組めた。 今後も、教育機関や企業、地域組織との連携・協働により生活の身近な場所で福祉活動を担う人材の育成が求められている。																					
				主な事業成果 および課題	【成果】 ・福祉教育プログラムを通して、福祉に対する関心を深めることで、地域の福祉を担う活動者の育成に取り組んでいる。 【課題】 ・様々な場面で福祉教育が実施されるよう、学習意欲を刺激するプログラム開発が必要である。																					
				主な参加者・住民の 評価・声	・子どもと一緒に、福祉のことについて考える時間を持つことができました。 (親子で福祉教育を受講した保護者) ・地域でしょうがい体験ができ、理解が深まってとてもよかった(自治会の参加者)																					
		② や り が い の あ る 活 動 環 境 づ く り を 推 進 し ま す		評価コメント	ボランティア活動団体(者)と依頼団体(者)を結ぶコーディネート業務をとおしてボランティア活動団体(者)の活性化に取り組みができています。 地域の高齢化や価値観の多様化などが進む中で新たなボランティアニーズに対応することが求められている。																					
				主な事業成果 および課題	【成果】 ・ボランティアをしてほしい人のところへ、ボランティアしたい人をつなげることで、やりがいを持って活動できる環境づくりに取り組めた。 ・情報の発信や保険加入等、ボランティア活動がしやすい基盤整備の推進ができています。																					
				主な参加者・住民の 評価・声	・思いに合った活動先を紹介してもらえて、とてもやりがいを感じました。 (ボランティア活動者) ・自治会イベントにボランティアさんを紹介してもらい、地域の交流事業が盛り上がりました。(自治会長)																					

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																							
			ねんじりな根太しん	3-① 気軽に相談できる関係・環境・意識づくり	ます (2) 気付きや情報を受け止めて、解決に向けた推進体制をつくり	<p>福祉・生活相談窓口の運営 <small>地域福祉活動事例集 事例番号34~37参照</small></p> <p>事業目的 市民の身近な福祉・生活相談窓口として、気軽に相談できる相談窓口を設置・相談に応じるとともに、地域の福祉課題を把握することで、地域ニーズに応じた福祉活動を推進します。</p> <p>○相談窓口設置数（福祉生活相談・よろず相談）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活相談 (ヶ所)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>よろず相談 (ヶ所)</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 現在、長浜センターおよび木之本センターの 2 か所に相談員を配置し、市民の身近な相談窓口として生活相談を実施しています。 また、よろず相談を 8 か所で開催し、市民の身近な生活上の悩みや心配ごとの相談窓口として運営しています。平成27年7月からは、よろず相談窓口を市内3カ所に集約し、効率的な運営に努めます。 【事業報告シートp. 35】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	生活相談 (ヶ所)	2	2				2	よろず相談 (ヶ所)	8	8	2		
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																				
生活相談 (ヶ所)	2	2				2																				
よろず相談 (ヶ所)	8	8	2			2																				
		ます (1) 身近な気付きや情報をつなぎます	<p>生活相談員の設置</p> <p>事業目的 多様な生活課題を抱える方に対する、身近な相談窓口として、専門性と地域性を併せもった専門職を配置し生活相談窓口を運営します。</p> <p>○生活相談員の設置</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活相談 (人)</td> <td>6</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 社会福祉士・介護支援専門員・しょうがい者相談員等を複数配置して生活課題を抱える方々の幅広い相談を受け、必要な制度の紹介や手続きについて支援をしています。 【事業報告シートp. 35】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	生活相談 (人)	6	7				7	評 価	【A】達成できている							
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																				
生活相談 (人)	6	7				7																				
				評 価	【A】達成できている																					
				評価コメント	市民の身近な相談窓口としての体制の整備ができている。また、相談に来れない方への電話対応や訪問面談等の生活相談を実施することで、相談者に寄り添った相談支援の提供が図られている。																					
				主な事業成果および課題	【成果】 ・住民にとって気軽に相談できる窓口となっている。 【課題】 ・相談内容がより専門性の高い相談内容となってきたため、専門職の適正配置を含めた体制整備が必要である。																					
				主な参加者・住民の評価・声	・無料で気軽に相談に乗っていただけたのでとてもありがたかったです。（よろず相談利用者）																					
				評 価	【A】達成できている																					
				評価コメント	有資格者の相談員を市内 2 か所に配置し行政関係機関等との連携により幅広い地域住民の生活相談に対応できる体制が整えられている。																					
				主な事業成果および課題	【成果】 ・生活相談は、様々な制度の紹介や手続き支援等へつなぐ役割が出来ている。 ・生活相談員の増加により、幅広い相談内容に対処できている。 【課題】 ・幅広い相談に対応するため、常に相談員の資質向上を図る必要がある。																					
				主な参加者・住民の評価・声	・様々な相談窓口が連携することにより、課題解決に向けた相談活動となっている。（関係機関から）																					

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																
ねんごろな根太づくり	3-② 気になる人を支えられる関係づくり	(1) 地域で見守りが必要な人の支援体制を推進します	<p>地域見守り活動推進事業 地域福祉活動事例集 事例番号3参照</p> <p>事業目的 地域で災害時の要援護者支援を円滑に推進するため、長浜市避難支援見守り支えあい制度と協働・連携し、個別支援計画の策定を支援します。</p> <p>○個別支援計画策定件数</p> <table border="1" data-bbox="454 499 1448 640"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>策定率 (%)</td> <td>95</td> <td>95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 「長浜市避難支援・見守り支えあい制度」申請に対し、自治会長や民生委員との連携のもと、個別支援計画が策定されるよう制度説明や相談を行っています。 個別支援計画策定をとおして、自治会内で当該制度を活用した見守り支えあい活動が促進されるよう、制度を活用した事例の紹介などを行い、地域で見守りが必要な人の支援体制を推進しています。 【事業報告シートp. 36】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	策定率 (%)	95	95				95	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		策定率 (%)	95	95				95											
		評価コメント	<p>制度を地域の見守り支えあい活動に活用することにより、個別支援計画策定率の向上と見守り支えあい活動の向上に取り組むことができている。 今後もいざという時だけでなく、日ごろから制度を活用した見守り支えあい活動が拡充されることが求められる。</p>																
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 制度登録（災害時要援護者登録）と個別支援計画の策定の支援により、要援護者に対する自治会や近所で見守りが必要な人の支援体制づくりにつながっている。 制度を活用した地域の見守り支えあい活動の提案や、既に活動されている見守り支えあい活動に対して制度の活用を進めることで、策定率の向上だけでなく、実活動に結びついた制度利用を進めることができている。 																		
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> いざという時の支援体制を平常時から備えておけるので安心です。（自治会長） 見守り活動や要援護者の情報管理のため、個別の情報は役に立ちます。（自治会長） 																		
ねんごろな根太づくり	3-② 気になる人を支えられる関係づくり	(2) 要援護者を支えるネットワークと地域連携を推進します	<p>地域・介護連携会議 地域福祉活動事例集 事例番号22参照</p> <p>事業目的 地域福祉担当と介護の専門職との連携・協働により、介護現場や生活の場で浮かび上がってくるさまざまな福祉課題・地域ニーズを把握することで、新たな福祉課題への取り組みを推進します。</p> <p>○地域・介護連携会議開催回数</p> <table border="1" data-bbox="454 1245 1448 1386"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数 (回)</td> <td>44</td> <td>48</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 地域福祉担当者と介護事業担当者の連携と協働により、それぞれの立場から把握する地域課題、生活課題等について課題分析や共有化を図り、地域ニーズに応じた新たな福祉サービスの提案や活動につなげる取り組みを行っています。 【事業報告シートp. 36】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	開催回数 (回)	44	48				48	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30										
		開催回数 (回)	44	48				48											
		評価コメント	<p>支援を必要とする人の生活課題や地域の課題について多職種が連携し改善に向けた取り組みが進められている。 今後も多職種が連携、協力することで、地域の様々な課題に向けた取り組みを進め、新たな福祉サービスの企画・立案を図っていくことが求められる。</p>																
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域福祉担当者と介護事業担当者の連携により、地域ニーズに応じた新たな福祉サービスの提案や活動が出来ている。 地域課題や生活課題を抱える人を中心とした多職種のネットワーク化が図られている。 																		
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 訪問時に気づいた、サービス利用者の家族が抱える課題について、他職種連携により解決にむけた取り組みを話し合うことができた。（介護ヘルパー） 																		

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況	評価																							
ねんじな根太のふ	3-③	協働と参画による地域づくり	(1) 地域福祉推進のための協働・連携体制を推進します	<p>地区別地域福祉推進事業（地域ケア会議） <small>地域福祉活動事例集 事例番号47参照</small></p> <p>事業目的 市内 15 地区でそれぞれの福祉課題・地域ニーズに応じたきめ細やかな福祉活動を推進することを目的に、福祉懇談会の開催、地区福祉活動計画の策定を推進します。また、市と協働でさまざまな地域福祉の課題解決に向けた協議の場（地域ケア会議）を開催します。</p> <p>○地区活動計画策定数・率</p> <table border="1" data-bbox="451 541 1448 772"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>策定数 (ヶ所)</td> <td>未実施</td> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>策定率 (%)</td> <td>未実施</td> <td>27</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 長浜市地域福祉活動計画と連携し、市内 15 地区に応じた地域福祉を推進するため、地域住民と地区活動計画の策定に向けた協議を始めています。また、懇談会を進めるに当たり、市行政との連携も図り、地域住民と行政が連携した地域福祉を進めます。 【事業報告シート p. 37】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	策定数 (ヶ所)	未実施	4				15	策定率 (%)	未実施	27				100	評価	【B】 おおむね達成できている
				年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
策定数 (ヶ所)	未実施	4				15																					
策定率 (%)	未実施	27				100																					
評価コメント	<p>地域住民が主体的に地域の課題や実情に応じた活動・取り組みについて話しあいを行ない、地域版の福祉活動計画の策定が進められた。</p> <p>今後も地域福祉課題の解決に向けた取り組みや話しあいの場づくりの取り組みを進めていくことが求められる。</p>																										
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地区の福祉課題・ニーズに応じた地域福祉活動を推進する基盤づくりとなっている。 地域にあった地域福祉を計画的に推進できる目標の共有ができている。 																										
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活で感じる地域福祉課題を確認し、必要な活動・事業へつなげられる。（懇談会参加者） 																										
ねんじな根太のふ	3-③	協働と参画による地域づくり	(1) 地域福祉推進のための協働・連携体制を推進します	<p>災害ボランティアセンターの機能強化 <small>地域福祉活動事例集 事例番号28参照</small></p> <p>事業目的 災害時の被災者支援活動を円滑に進めるため、災害ボランティアセンターの機能充実を図ります。また、平時から関係機関・団体とのネットワークを構築し万が一の災害に備えます。</p> <p>○災害ボランティアセンタースタッフ数・訓練回数</p> <table border="1" data-bbox="451 1335 1448 1566"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ボランティア 人数</td> <td>37</td> <td>44</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>訓練 (回数)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 自分たちの地域を守る仕組みを学び、災害時における災害ボランティアセンターのボランティアスタッフの養成をしています。 【事業報告シート p. 37】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	ボランティア 人数	37	44				50	訓練 (回数)	2	2				2	評価	【A】 達成できている
				年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
ボランティア 人数	37	44				50																					
訓練 (回数)	2	2				2																					
評価コメント	<p>講座の実施や訓練をとらして災害ボランティアセンターの機能強化や44名の災害ボランティアの養成が進められた。</p> <p>多くの地域住民に災害ボランティアセンターの役割を知ってもらうことで、災害が発生した場合の円滑な災害ボランティア支援や平常時から災害に備える取り組みを進めることができた。</p> <p>今後継続して、大規模災害を想定した災害復興支援の窓口となるボランティアセンターの機能強化は急務である。</p>																										
主な事業成果および課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害が発生した場合、迅速に活動に参加するなど意識の向上につながった。 講座によって新たな活動者の登録が進められ災害ボランティアセンターの機能強化につながった。 																										
主な参加者・住民の評価・声	<ul style="list-style-type: none"> 参加して災害ボランティアセンターの役割が知れてよかった、来年も参加したい。（講座参加者の声） 災害時におけるボランティア支援の大切さをもっと広く多くの方に広めたい。（講座参加者の声） 																										

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況																							
ねんじりな根太じいさん	3-③ 協働と参画による地域づくり	ます (2) 地域を支える社協の地域コーディネーター力を強化し	<p>地域福祉コーディネーターの配置</p> <p>事業目的 地域の福祉課題・地域ニーズを把握し、地域組織・福祉関係団体（自治会・民生委員児童委員・地区社会福祉協議会（福祉の会）・ボランティア等）との協働により地域内の地域福祉活動の推進と地域間の連携を促進します。またコーディネート力の質を高め、新たな福祉課題に対する取り組みを提案します。</p> <p>○地域福祉コーディネーター設置数・研修回数</p> <table border="1" data-bbox="454 541 1448 772"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設置数 (地区)</td> <td>15</td> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>設置率 (%)</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>実施状況報告 地域住民とともに各地域の実情に応じた地域福祉活動を展開するため、15地区に担当地域福祉コーディネーターを配置し、住民主体の地域福祉活動を支援しています。 【事業報告シートp. 38・39】</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	設置数 (地区)	15	15				15	設置率 (%)	100	100				100	評 価	【A】達成できている
			年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30																	
			設置数 (地区)	15	15				15																	
			設置率 (%)	100	100				100																	
評価コメント	地域住民が主体的に地域福祉活動を実践できるよう、市内15地区に地域福祉コーディネーターを配置し地域住民と地域福祉コーディネーターが協働・連携して地域福祉活動を推進する体制が整備できている。																									
主な事業成果および課題	【成果】 ・各地域のニーズに応じた地域福祉が推進できている。 ・市内全地域との連携と情報共有ができています。																									
主な参加者・住民の評価・声	・他地区の活動状況の情報が得やすくなったため、自分の地域の活動の参考になる。 （地区社協役員）																									

平成26年度長浜市地域福祉活動計画事業評価における事業強化（案）

おおのまちの地域づくり	1・② 健やかな成長と自立を育む地域づくり	(2) 地域ぐるみの子育てを促進する	<div data-bbox="459 231 1563 422" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">冒険遊び場支援事業 地域福祉活動事例集 事例番号19参照</p> <p>事業目的 子どもが自然の中で元気に遊べる機会を創造し、四季を通じた外遊びの体験、子ども同士・親同士の交流を深め、子育ての大切さや支えあえる活動を推進します。</p> </div> <p>○実施状況報告</p> <p>子どもが外で自由に遊べる環境が少なくなってきたなか、外遊びを主体とした場所づくりを目的とした活動です。活動費の助成や活動に対する相談援助を行うことで、活動の充実や新たな取り組みの開設をめざした支援を行っています。</p> <p>これまで市内2か所で取り組まれてきましたが、平成26年度をもって2か所とも定期的な活動を休止されました。</p> <p>○平成27年度事業強化</p> <p>子どもが自分の意志で自由に参加し、自由に遊べる活動として、生活圏域で身近な場所での開催、日頃からいつでも気軽に参加できる実施体制を進めます。</p> <p>■<u>NPO法人、自治会、地域団体と連携した活動の推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベント内での冒険遊び場の開催 ・NPO法人等と連携した冒険遊び場の開催 <p>■活動支援内容</p> <p>【新規の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>人材の育成（子どもの遊びをサポートするプレーワーカー養成講座の開催）</u> <p>【従来からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動保険の加入 ・活動助成 ・活動にかかる広報啓発 ・活動相談
-------------	-----------------------	--------------------	--

基本目標	活動の柱	取り組み	活動事業および目標到達状況														
<p>だしかいなの人づくり</p>	<p>2-② ともに支えあい頑張りあえる仲間づくり</p>	<p>(1) 地域の福祉団体活動を支援します。</p>	<p>【長浜市福祉バス事業】</p> <p>○事業目的 市内で活動する高齢者、心身しょうがい者（児）、母子家庭、地区社協、ボランティア団体等の福祉団体の様々な福祉事業（大会参加、研修事業、交流事業、ボランティア活動等）の実施や参加を支援するため、長浜市福祉バスを運行します。</p> <p>○長浜市福祉バス運行 実施回数</p> <table border="1" data-bbox="465 635 1527 782"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出件数 (件)</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用車両：大型バス（正席45人まで）・中型バス（正席28人まで）・小型バス（正席20人まで） ・利用日時：平日 午前8時30分～午後5時まで（原則） ・利用団体：市内の福祉活動団体（市との委託契約により利用団体の定めがあります。）※1 団体原則 1 回／年 ・運行距離：長浜市役所を中心に半径 110 kmの範囲 	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	貸出件数 (件)	-	-				55
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30											
貸出件数 (件)	-	-				55											

おせえむらの地域づくり

1-② 健やかな成長と自立を育む地域づくり

(3) 自分らしく生きると生活できる地域づくりを促進します

【中山間地支援事業】

事業目的

人口減少や少子高齢化の影響が地域住民の生活や福祉活動に顕著に表れる中山間地域で、住民相互のたすけあい、支えあい活動や住民の憩いのための居場所づくり、生きがいを持って日々の生活を送り健康で健やかな暮らしを応援するための支援活動を実施します。

○余呉地域カフェ 参加者数

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
参加者数 (名)	-	-				700

○実施内容（平成27年度）

- 地域カフェの開設
開設日時：毎週木曜日 午前10時～午後3時（第5木曜と12/29～1/3は休み）
開設場所：余呉高齢者福祉センター
- 生きがいづくり教室の開催
開催日時：毎週木曜日 午前10時～午後12時
開催場所：地域カフェ会場内で開催
内 容：そば打ち教室、小物づくり教室、健康教室、寄せ植え教室 等
- 生活支援ボランティア活動の育成支援
ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の、日常生活上の困りごとの手助けを行う生活支援ボランティアの育成及び活動支援を行う。（生活支援ボランティア（元気かい）への依頼の調整）
- 中山間地域福祉活動フォーラムの開催
中山間地域の課題に向き合い、「このまちに暮らしてよかった」といえる地域づくりと地域住民の力を高め、中山間地域の福祉の推進を目的にフォーラムを開催する。

おせえつわんの地域づくり	1—② 健やかな成長と自立を育む地域づくり	③ 自分らしくいきいきと生活できる地域づくりを促進します	<p>【ひきこもり者等居場所づくり事業】</p> <p>○事業目的 不登校者、ひきこもり者等が人と交流するための支援として、ひとりひとりの様子に合わせた過ごしやすい居場所づくりや、自分を見つめる機会と時間をもつことで自立した生活へつながること、また、当事者同士の交流による支えあいの広がりを目的として実施します。</p> <p>○ひきこもり者等居場所 参加者数</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="padding: 5px;">年 度</th> <th style="padding: 5px;">H25</th> <th style="padding: 5px;">H26</th> <th style="padding: 5px;">H27</th> <th style="padding: 5px;">H28</th> <th style="padding: 5px;">H29</th> <th style="padding: 5px;">H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">参加者数 (名)</td> <td style="padding: 5px;">-</td> <td style="padding: 5px;">-</td> <td style="padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px;">150</td> </tr> </tbody> </table> <p>○実施方法 対 象：不登校の生徒・学生さんや30代くらいまでのひきこもりの若者とその保護者 内 容：当事者：カードゲームやテレビゲームなどのレクリエーションや、みんなでやりたいことを一緒に話しあって計画し、気楽に過ごすことができる居場所づくり 保護者：ひきこもりに関する研修会や、保護者同士の交流会、情報交換会などによるつながりづくり 開催頻度：毎月1回程度 参加費：無料</p>	年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	参加者数 (名)	-	-				150
年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30											
参加者数 (名)	-	-				150											